

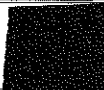


整理番号	9-1
------	-----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	静岡新聞データベース plus 日経テレコン利用料		
年月日	平成 30年9月28日～平成 年 月 日	金額	56,484 円

目的	調査研究など政務活動を行う為の情報収集手段
使途	H30年度 9月分 利用料 (2アカウント分)
政務活動・ 県政との 関連性	調査研究の為の情報収集をし、政策や質問に生かしていく。

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	56,484 円	100%	56,484 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

処理日時 2018年09月27日 13時54分42秒

■取引情報

取引ID	180927000593767
受付番号	0927004
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 09月28日
取引名	09月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	██████████
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	登呂支店 (132) 普通 0014475
受取人名	カシオオカシブツヤ
登録名	(株)静岡新聞社

■振込金額

入金金額	56,160円
税込手数料	324円
引落合計金額	56,484円

■依頼者情報

依頼者	██████████
依頼日	2018年09月27日

■承認者情報

承認者	██████████
承認期限	2018年09月28日
承認日時	2018年09月27日 13時54分
コメント	静岡新聞データベースplus日経テレコン利用料2アカウント (30.9月分)

振込依頼を受けました。  
振込依頼は 9月28日扱いです。

請求書

〒420-8601  
静岡県 葵区 追手町 9-6

平成 年 月 日

自民改革会議 御中

静岡県駿河区登呂3丁目1番1号

株式会社静岡新聞社

代表取締役 大石

電話 054-284-9661



件名 静岡新聞データベースplus日経テレコン利用料

下記のとおりご請求申し上げます。

静岡新聞データベースをご利用下さいまして有り難う  
ございます。ご不明な点がございましたら、請求担当  
幸田までお問い合わせ下さい。

振込銀行 静岡銀行登呂支店(普)0014475

口座名義 株式会社静岡新聞社

※恐れ入りますが振込手数料はお客様にてご負担下さい

御請求金額 56,160 円 (消費税込)

項目	摘要	数量	単価	金額
1	9月分	2	26,000	52,000
	以下、余白			
			小計	52,000
			消費税	4,160
			合計	56,160

<備考>

整理番号	9-2
------	-----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	新聞購読料 (静岡・読売・毎日・朝日・産経・中日・日経・木材)		
年月日	平成30年9月1日～平成30年9月30日	金額	50,820円

目的	調査研究に関する情報収集
使途	平成30年9月分 購読料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動の調査研究における情報資料

《領収書貼付枠》

領収証 (口座振替)

支店 01 区域 017 口座番号 077 自民改革会議 振様

品名	数量	金額	備考	領収金額 (含消費税)
朝日新聞朝刊	2	6,706		6,706 円

2018 年 09 月分  
領収致しました。  
年 月 日

10/9は休刊日です。今月の集金額は9/14まで計算しております。

静岡中央新聞販売(株)  
静岡市葵区追手町7番1号  
フリーダイヤル 0120-70-1331 本店 054-255-1331

ご購読ありがとうございます。本票はご保存下さい。金額等の書き損じは効力ありません。

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	50,820円	100%	50,820円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

# 領収証 <銀行口座振替済>

自民改革会議 様  
 静岡市葵区追手町9-6  
 県庁本館3F

2018年09月分  
 21-006 (No. [REDACTED])

銘柄名	部数	金額
毎日新聞 朝刊	2	6,706
日本経済 朝刊	1	4,400
産経新聞 朝刊	2	6,068
木材新聞	1	6,200

合計金額

23,374円

上記新聞代金正に領収致しました  
 30年9月26日

株式会社 高山新聞店  
 本店/静岡市葵区七間町番地9-30  
 〒420-0035 TEL (054) 255-2336

地区担当者  
 取継所 八千代町

# 領収証

自民改革会議 様

2018年9月分  
 (522) 67.00振込

東館東 12-2・12-3

お問合せNo. [REDACTED]  
 (本体:¥11,728)  
 (消費税:¥938)

銘柄	部数	金額	備考
静岡新聞セット	2	5,960	
読売新聞朝刊	2	6,706	

合計金額

12,666円

新聞ご購入、誠に  
 有難うございます。  
 上記の金額  
 正に領収致しました。

ご購入代金を振込・口座振替・クレジット決済  
 集金にて領収させていただきました。  
 10月の休刊日は9日(火)の予定です

株式会社 高山新聞店  
 読売センター静岡中校  
 〒420-0042 静岡市葵区駒形通3-3-3  
 TEL:054-252-1044/1  
 FAX:054-252-1044/8

# 領収証

追手町 9-6 本館3階

2018年9月分

自民改革会議 様

お問合せNo. [REDACTED]  
 (519) 4.00自振  
 (本体:¥7,476)  
 (消費税:¥598)

銘柄名	部数	金額	備考
中日朝夕刊セット	2	8,074	

合計金額

8,074円




上記の通り請求・領収いたしま  
 平成 年 月 日

上記の金額正に領収致しました。

日頃よりご愛読いただき誠にありがとう  
 ございます。  
 静岡市美術館開催「創造の300年〜カナル」  
 招待券でございます。お気軽にスタッフまで

新聞 静岡専 領収  
 静岡市葵区本通7丁目  
 253-8653  
 森下新聞店

整理番号	9-3
------	-----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局 )

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広聴広報費</u> ・要請謝等謝費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	自民改革会議ホームページ更新費用		
年月日	平成 30年 9月 28日～平成 年 月 日	金額	23,760 円

目的	県政に係る情報等を県民に報告
使途	平成30年9月分 更新料
政務活動・ 県政との 関連性	県の施策、議会での発言内容、政務活動状況などを掲載し、情報を広く伝えるとともに意見を聴取し、県政に反映させる。

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	23,760 円	100%	23,760 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

## 領収書

2018年9月30日

自民改革会議様

Imacro Design   
**イマクロデザイン**  
 〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町136  
 TEL 053-422-7017/FAX 053-571-5112  
 担当者 小池敏彦

下記の通り領収いたしました。

合計金額 **¥23,760 (内消費税 ¥1,760)**

収入

印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
H30年9月分更新費用、サーバレンタル費用	22,000	1	¥22,000

税抜合計金額 **¥22,000**

消費税額 **¥1,760**

処理日時 2018年09月27日 13時53分34秒

■取引情報

取引ID	180927000589616
受付番号	0927003
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 09月28日
取引名	09月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	ささがせ支店 (374) 普通 0480639
受取人名	イマクロデザイン コトシロ
登録名	イマクロデザイン

■振込金額

入金金額	56,160円
税込手数料	324円
引落合計金額	56,484円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2018年09月27日




■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2018年09月28日
承認日時	2018年09月27日 13時53分
コメント	会派HP更新費用 (H30.9月分) ￥23,760 政務活動費管理システム保守サポート費用 (H30.9月分) ￥32,400

振込依頼を受けました。  
振込依頼は 9月28日扱いです。



整理番号	9-4
------	-----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費 <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	政務活動費管理システム保守サポート費用		
年月日	平成 30年 9月 28日～平成 年 月 日	金額	32,724 円

目的	県政に係る情報等を県民に報告
使途	平成30年9月分 保守料
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

56,484 円のうち、政務活動費管理システム保守サポート費用 32,400 円+振込み手数料 324 円  
=32,724 円 を充当する。

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる もの。	32,724 円	/	32,724 円
		100%	

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

## 領収書

2018年9月30日

自民改革会議 様

Imacro Design   
**イマクロデザイン**  
 〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町136  
 TEL 053-422-7017/FAX 053-571-5112  
 担当者 小池敏彦

下記の通り領収いたしました。

合計金額 **¥32,400 (内消費税 ¥2,400)**

収入




印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
H30年9月分 政務活動費管理システム保守サポート費用	30,000	1	¥30,000

税抜合計金額	¥30,000
消費税額	¥2,400

整理番号	9-5
------	-----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局 )

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請精算謝費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	コピー機リース料		
年月日	平成 30年 9月 4日～平成 年 月 日	金額	15,540 円

目的	政務活動を行う為の資料作成手段
使途	平成 30年 9月分 リース料 (役員室・大部屋分)
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	15,540 円	100%	15,540 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

自民改革会議 御中

発行日 2018年09月07日

領収証番号 0000001119

# 領 収 証

リコーリース株式会社

東京都江東区東雲1-7-12

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。  
下記金額を正に領収させていただきましたこと、お知らせ申し上げます。

印紙税申告納付につき江東西  
税務署承認済

領 収 日	2018年 9月 4日
領 収 額	15,540円

お支払方法	口座振替
振替口座	[Redacted] * 口座番号の下3桁は、お客様情報保護のため「***」と表示しています。 シンカイカクカイキ ヤフタ ヒロユキ

## 領収明細書

契 約 番 号	請 求 期 間	回 数	金 額	消 費 税 等
[Redacted]	18. 9. 1~18. 9. 30	54	14,800	740

続きは裏面をご覧ください。

整理番号	9-6
------	-----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局 )

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費 (事務費)・事務所費・人件費		
内 容	プロバイダー料金		
年 月 日	平成 30 年 9 月 28 日～平成 年 月 日	金 額	3,564 円

目 的	政務活動に関する情報収集の為のプロバイダー
使 途	平成 30 年 9 月分 プロバイダー料
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>>                      	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる もの。	3,564 円	100%	3,564 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6

自民改革会議 御中



請 求 書

自民改革会議 御中

請求No. 2018090067

2018年9月12日

〒424-0888 静岡市清水区中道郷2-1-5  
株式会社 トコちゃんねる静岡

TEL054-347-9811 (担当)

下記の通り御請求申し上げます。

請求金額 ¥3,456 -

摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額
ひかりファミリー準コース(月払) 2018年09月分	2	ID	¥1,600	¥3,200
小 計				¥3,200
消 費 税 ( 8 % )				¥256
合 計				¥3,456

お支払いは下記銀行弊社口座へ 2018年10月 末迄にお振り込み下さい。

静岡銀行 草薙支店

口座番号 普通口座 No. 0645922

口座名義 株式会社トコちゃんねる静岡

※振込手数料につきましては、貴社負担にてお願いいたします。

処理日時 2018年09月27日 13時52分15秒

■取引情報

取引ID	180927000584697
受付番号	0927002
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 09月28日
取引名	09月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	草薙支店 (147) 普通 0645922
受取人名	か)トコちゃんねるカ
登録名	(株)トコちゃんねる静岡

■振込金額

入金金額	3,456円
税込手数料	108円
引落合計金額	3,564円

■依頼者情報



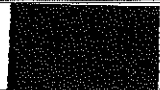
依頼者	[REDACTED]
依頼日	2018年09月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2018年09月28日
承認日時	2018年09月27日 13時52分
コメント	プロバイダ料金 (H30.9月分)

振込依頼を受けました。  
振込依頼は 9月28日扱いです。

整理番号	9-7
------	-----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費 (事務費) 事務所費・人件費		
内容	静岡銀行 Web-PCバンキング利用料、データ伝送利用料		
年月日	平成 30年 10月 15日~平成 年 月 日	金額	5,400 円

目的	県議への政務活動費振込み手段
使途	平成 30年 9月分 システム利用料
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	5,400 円	100%	5,400 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。



平成 30年 10月 15日

4 2 0 - 8 6 0 1

# 領収書

静岡市葵区 追手町 9-6

静岡県議会  
自民改革会議 様

毎度お引き立てにあずかりありがとうございます。  
下記のとおり、各種手数料をご指定の預金口座より引き落しさせていただきました。

平成 30年 9月分	振替日 平成 30年 10月 15日
------------	--------------------




手数料種類	領収金額 (円)	ご指定預金口座		
		支店名	預金種類	口座番号
WEB-PCバンキングサービス基本料	1,620			
データ伝送サービス基本料・利用料	3,780			
合計	5,400			
	内、税抜金額 5,000			
	消費税等 400			

発行者 静岡市葵区 追手町 9-6  
株式会社 静岡銀行 県庁支店  
電話番号 054-254-5451

印 刻 除 排 申 出 済  
付 本 票 本 巻 補 添 開  
税 彩 券 承 認 済



整理番号	9-8
------	-----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局 )

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	電話料金 (県庁議員控室、自民改革会議事務局)		
年月日	平成 30 年 9 月 28 日～平成 年 月 日	金額	6,115 円

目的	政務活動を行う為の通信手段
使途	H30年7月分 電話料

政務活動・  
県政との  
関連性

《領収書貼付枠》

ゆとり銀行・郵便局の窓口又は A T M でお支払いの場合は、左記一紙をお出しください。

※納付場所等は裏面を御覧ください。

静岡県 納入通知書兼領収書 公

420-0853  
静岡県静岡市葵区追手町  
9-6  
24  
自民改革会議 代表 中沢 公彦 様

年度	平成30年度	会計科目	会計 01 款 14 項 07 目 02 節 07			
収納滞り 番号	22000	納付番号	18000 01013 00000 10960			
調定番号	1800318-	1	確認番号	091415	納付区分	315
金額	6,115 円		納期限	平成30年10月 9日		
所属名 (連絡先)	経営管理部 財務局			電話: 054-221-2123		

ただし 県庁舎管理費負担金  
N T T 電話使用料 (平成30年7月分)

上記の金額を納期限までに納めてください。  
平成30年 9月25日

静岡県知事



指定  
静岡県指定代理金融機関  
収納代理



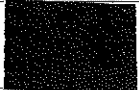
上記の金額を領収しました。



按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	6,115 円	100%	6,115 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	9-9
------	-----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

### 支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内 容	PCリース料		
年 月 日	平成 30年 10月 9日～平成 年 月 日	金 額	10,476 円

目 的	政務活動を行う為のPC
使 途	平成30年度 9月分 PCリース料
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

按分の理由 全て政務活動にかかる もの。	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	10,476 円	100%	10,476 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

13	30-09-28	BA			
14	30-09-28	AA			
15	30-10-04	BF			
16	30-10-09	BF	(9月分)*10,476	HC)ヒタ子C-NBL	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

9/28 01



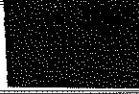
※記号の説明

- AA、AF ……入金
- FA、FF ……振込
- C0、1、2、3、4…他店券入金
- TF、TO ……取立
- BA、BF ……支払

※他店を支払場所とする証券類を受入れた場合は、お支払い金額欄に「タケン」と表示し、その右側に払戻しのできる予定の日を表示します。  
 なお、お支払可能時刻は、証券頭の種類によって異なります。

3

整理番号	9-10
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	郵送料		
年月日	平成 30年 9月 11日~平成 年 月 日	金額	250 円

目的	政務活動費書類送付の為
使途	郵送料 1通分
政務活動・ 県政との 関連性	


《領収書貼付枠》

領収書

自民改革会議 様

[証紙切手引受]  
 第一種定形外(規格内) 158.0g  
 @250 1通 ¥250  
 -----  
 小計 ¥250  
 -----  
 郵便物引受合計通数 1通  
 課税計 ¥250  
 (内消費税等 ¥18)  
 非課税計 ¥0  
 -----  
 合計 ¥250  
 お預り金額 ¥250



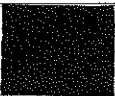


〒100-8798 日本郵便株式会社  
 東京都千代田区霞が関1-3-2  
 取扱日時：2018年 9月11日 14:41  
 担当：   
 発行No. 180911A1158 端N67箱01  
 連絡先：静岡県庁内郵便局  
 TEL: 054-254-9810

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	250 円	100%	250 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	9-11
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <b>事務費</b> 事務所費・人件費		
内容	事務用品購入		
年月日	平成 30年 9月 28日～平成 年 月 日	金額	6,995 円

目的	事務を行う為の文房具等購入
使途	事務用品購入代
政務活動・ 県政との 関連性	

《領収書貼付枠》

9/20ㄨ切分

- ・コピー用紙 ・クリアホルダー ・修正テープ ・赤色えんぴつ ・テプラ
- ・セロハンテープ ・録画DVD (県議一般質問者用) ・ふせん ・ホワイトボードペン
- ・蛍光ペン

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	6,995 円	100%	6,995 円

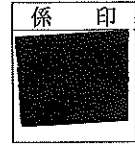
※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

# 領 収 証

印  
紙

自民改革会議 様

金額	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
				4	6	8	8	7



但 文具代

上記金額正に領収致しました

平成 30 年 9 月 28 日

内 訳

現金		円
小切手		円
手形	/	円
振込		円
相殺		円

オフィス用品専門店  
 株式会社 島村 謄 文 堂  
 代表取締役 島村 武 慶  
 静岡県麻枝市田沼1丁目15-8  
 TEL (054) 6 3 5 - 1 3 0 5 (代)  
 FAX (054) 6 3 5 - 1 3 0 9

処理日時 2018年09月27日 13時56分47秒

■取引情報

取引ID	180927000595365
受付番号	0927005
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 09月28日
取引名	09月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	藤枝駅支店 (166) 普通 0128539
受取人名	カシマコウブンドウ
登録名	(株)島村騰文堂

■振込金額

入金金額	6,887円
税込手数料	108円
引落合計金額	6,995円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2018年09月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2018年09月28日
承認日時	2018年09月27日 13時56分
コメント	文房具 (H30.9/20<切分)

振込依頼を受付けました。  
振込依頼は 9月28日扱いです。





平成30年 9月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 様  
所属

支給日 平成30年 9月28日

受領印

勤		支		控		そ の 他	
所定就労日	総	基本給(月給)	給	健康保険料	除	年末調整還付	他
18.00	18.00	230,000		11,724		0	
出勤日数	18.00			介護保険料	1,884	0	
				厚生年金保険	21,960		
		非課税通勤費	7,560	社保料調整	0		
				雇用保険料	713		
		前月修正	0			合計	0
				所得税	4,550		
				住民税	13,300		
						差引支給額	183,429
						振込支給額	
						合計	183,429
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	7,092
						特定保険料	4,632
						社会保険料計	36,281
		合計	237,560	合計	54,131		

税額表	甲欄
扶養人数	0

平成30年 9月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 様  
所属




支給日 平成30年 9月28日

受領印

勤		支		控		そ の 他	
所定就労日	総	基本給(月給)	給	健康保険料	除	年末調整還付	他
18.00	18.00	210,000		10,747		0	
出勤日数	18.00			介護保険料	0	0	
				厚生年金保険	20,130		
		非課税通勤費	19,450	社保料調整	0		
				雇用保険料	688		
		前月修正	0			合計	0
				所得税	3,980		
				住民税	11,900		
						差引支給額	182,005
						振込支給額	
						合計	182,005
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	6,501
						特定保険料	4,246
						社会保険料計	31,565
		合計	229,450	合計	47,445		

税額表	甲欄
扶養人数	0

整理番号	9-13
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局 )

経費項目	調査研究費・研修費・広報費・要請等謝金・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・ <u>人件費</u>		
内容	社会保険料事業主負担分 8月分		
年月日	平成 30年 9月 28日～平成 年 月 日	金額	67,779 円

目的	政務活動を補助する職員の社会保険料
使途	H30年度 8月分 事業主負担分
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>> 8月分社会保険料 請求額 134,224 円のうち、事業主負担分 67,779 円を充当。	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	67,779 円	/	67,779 円
		100%	

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

# 納入告知書 納付書 領収証書

厚生保険

国庫金



取扱行名  
厚生労働省年金局(静岡)

取扱行番号

00064145

内閣府厚生労働省

6375

0343

30

納付目的年月

平成30年 8月分

納付期限

平成30年10月1日

右記のとおり納付してください。

平成30年 9月20日

子ども・子育て支援助定  
子ども・子育て拠出金  
1334

厚生年金助定  
厚生年金保険料  
84180

健康助定  
健康保険料  
48710

事業所整理記号 事業所番号

うち証券受領  
円

証券受領  
一部

合計額  
千 百 十 萬 千 百 十 円  
1 3 4 2 2 4

納付目的  
健康保険料  
厚生年金保険料  
子ども・子育て拠出金  
平成30年度  
内閣府及び厚生労働省所管  
年金特別会計

取納機関番号 納付番号 確認番号  
005001218390100012824113663

納付場所 日本銀行本店、支店、代理店、輸入代理店又は日本年金機構

静岡

年金事務所

期限内に完納されなかったときは、延滞金を加算し、延滞期間の満了後、延滞金の徴収方法(延滞保険法第181条、同法附則第9条、同法附則第17条の14、子ども・子育て支援法第17条の14、子ども・子育て支援法附則第17条の14、子ども・子育て支援法附則第17条の14)に基づき、延滞金の徴収が行われます。併せて、延滞金の徴収は、元本に充て、次に掲げる順序で行われます。

納入徴収官

厚生労働省年金局事業管理課長

420-8601 静岡市 葵区 追手町  
9-6

自民改革会議

3008

様

上記の合計額を領収しました。

(領収日: 印刷)



この納入告知書(納付書)はPay-easy(ペイジー)対応のA.T.M.、インターネットバンキング等を利用して納付することができます。

翌年度5月1日以降現年度歳入組入

平成30年 8月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 [Redacted] 様  
所属 [Redacted]

支給日 平成30年 8月31日

受領印

勤		総	支		給	控		除	そ の 他	
所定就労日		23.00	基本給(月給)		230,000	健康保険料		11,724	年末調整還付	0
出勤日数		23.00				介護保険料		1,884	年末調整徴収	0
			非課税通勤費		7,560	厚生年金保険		21,960		
			前月修正		0	社保料調整		0	合計	0
						雇用保険料		713		
						所得税		4,550	差引支給額	183,429
						住民税		13,300		
									振込支給額	
									合計	183,429
									現金支給額	0
									現物支給額	0
									基本保険料	7,092
									特定保険料	4,632
									社会保険料計	36,281
税額表		甲欄				合計		54,131		
扶養人数		0	合計		237,560	合計				

平成30年 8月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 [Redacted] 様  
所属 [Redacted]




支給日 平成30年 8月31日

受領印

勤		総	支		給	控		除	そ の 他	
所定就労日		23.00	基本給(月給)		210,000	健康保険料		10,747	年末調整還付	0
出勤日数		23.00				介護保険料		0	年末調整徴収	0
			非課税通勤費		19,450	厚生年金保険		20,130		
			前月修正		0	社保料調整		0	合計	0
						雇用保険料		688		
						所得税		3,980	差引支給額	182,005
						住民税		11,900		
									振込支給額	
									合計	182,005
									現金支給額	0
									現物支給額	0
									基本保険料	6,501
									特定保険料	4,246
									社会保険料計	31,565
税額表		甲欄				合計		47,445		
扶養人数		0	合計		229,450	合計				

① 66,445

整理番号	9-14
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局 )

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・ <u>資料作成費</u> ・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	コピーカウント料 (事務局・県庁 自民改革会議議員控室分) 9/20 検針分		
年月日	平成 30年 9月 28日・平成 年 月 日	金額	28,016 円

目的	資料等のコピー
使途	平成30年9月分 カウント料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動に関する資料作成

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	28,016 円	100%	28,016 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

RICOH

発行日 2018年10月 4日  
領収証No. B5X682

# 領収証

自民改革会議 様

いつもリコー商品をご愛顧いただきましてありがとうございます。  
2018年 9月28日にお支払いいただきました代金の領収証を  
お送りいたしますのでご確認ください。

領収種別 販入

金額	¥27,908
----	---------

但し、商品代として

印紙税申告納  
付につき大森  
税務署承認済

リコージャパン株式会社  
東京都大田区中馬込一丁目



(お問合わせ)  
部 門 請求書お問い合わせ窓口  
TEL 0120-138-970

※当社ではこのフォームでの領収証には、黒色の印鑑を使用しております。  
※金額等を訂正したものは無効とします。  
※再発行は出来ませんので、大切に保管願います。  
※入金取消し等の連絡があった場合、本領収証は無効となります。

処理日時 2018年09月27日 13時50分55秒

■取引情報

取引ID	180927000582891
受付番号	0927001
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 09月28日
取引名	09月27日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	駅南支店 (124) 当座 0000833
受取人名	リコージャパン(カ)
登録名	リコージャパン(カ)

■振込金額

入金金額	27,908円
税込手数料	108円
引落合計金額	28,016円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2018年09月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2018年09月28日
承認日時	2018年09月27日 13時50分
コメント	コピーカウント料 (H30.9/20ㄨ切分)

振込依頼を受付けました。  
振込依頼は 9月28日扱いです。



整理番号 9-15

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	会派視察 (インドネシア視察)		
年月日	平成 30年 9月 12日~平成30年 9月 16日	金額	3,542,564 円

目的	別紙報告書参照
使途	視察代 6名分
政務活動・ 県政との 関連性	別紙報告書参照
《領収書貼付枠》	

2018年9月28日 133876

## 領 収 証

自民改革会議 様

金 額	百 万	千	円	
	3	542	240	現金・小切手・振込・旅行券・クレジット・その他

但し 9/12~16 視察旅行費用として

上記金額正に領収致しました。

収入印紙 1,000円

取扱者

**株式会社遠鉄ラベル**  
静岡県浜松市東区旭町12-1

◎本証は社印並びに取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です。

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	3,542,564 円	100%	3,542,564 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

処理日時 2018年09月27日 14時00分22秒

■取引情報

取引ID	180927000609376
受付番号	0927007
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 09月28日
取引名	09月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	██████████
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	浜松営業部 (361) 普通 0100240
受取人名	カ)エンテツトラベル
登録名	㈱遠鉄トラベル

■振込金額

入金金額	3,542,240円
税込手数料	324円
引落合計金額	3,542,564円

■依頼者情報




依頼者	██████████
依頼日	2018年09月27日

■承認者情報

承認者	██████████
承認期限	2018年09月28日
承認日時	2018年09月27日 14時00分
コメント	会派視察_インドネシア (9/12~9/16) __6名分




振込依頼を受けました。  
振込依頼は 9月28日扱いです。






決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p>平成30年9月28日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 鳥澤 由克</p>						
目 的	<p>本年は、日本とインドネシアは国交樹立60周年であり、両国間の友好醸成機運が高まっている。</p> <p>この機を捉えて、静岡県が昨年覚書を交わした西ジャワ州を訪れて同州議会議員・在ジャカルタ日本国大使館等、関係者と面談して今後の交流について意見交換を行う。</p>					
年 月 日	平成30年9月12日～9月16日					
場 所	別紙添付報告書参照					

内 容	<p>1 行程 別紙添付報告書参照</p> <p>2 応対者 別紙添付報告書参照</p> <p>3 聴取内容 別紙添付報告書参照</p> <p>4 県政への反映          本年は、日本・インドネシア国交樹立 60 周年にあたる。          静岡県とインドネシア西ジャワ州との地域外交は、相互交流の促進に向けた取り組みを行い昨年は、ヘルヤワン前州知事が静岡県に来訪され、人材育成と経済分野での協力推進に係る覚書を締結し、本年 5 月に静岡県知事がインドネシアを訪問した際は、静岡県立大学とパジャジャラン大学とが趣意書の署名に立ち会うなど多分野に渡り連携を深めている。          様々な分野での交流を促進し、本県とインドネシアとの交流人口は拡大しつつある。その中においても、インドネシアには 92 社 107 事業所の県内企業が進出し特に西ジャワ州には、県内企業のおよそ 7 割にのぼる 67 社 70 事業所が進出していることから将来的に静岡県産業政策の更なる躍進計画樹立に参考となった。          今回の訪問を機に、本県とインドネシア西ジャワ州との関係をより一層強固なものとし、双方の更なる発展に向けた意見交換を行うとことができた。          今後は、静岡県議会としても、西ジャワ州との交流をさらに促進し、揺るぎない信頼関係を構築していくうえで今回の視察訪問は、有意義でありともに相互理解を深めるに至った。</p>
--------	---



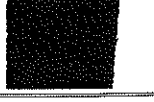
\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p>平成 30 年 9 月 16 日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 多家 一彦</p>						
目 的	<p>インドネシアと国交 60 周年を記念し両国間の友好機運醸成を高め、県と昨年覚書を交わした、西ジャワ州議会等を訪れ、面談し、今後の交流等の意見交換をした。</p>					
年 月 日	H30、9、12～16					
場 所	在ジャカルタ日本大使館 (別添資料参照)					
内 容	<p>1 行程 別添資料参照</p> <p>2 応対者 別添資料参照</p> <p>3 聴取内容 本年 5 月 30 日静岡県知事がジャカルタ及びバンドン西ジャワ州議会を訪問し、日本進出企業を激励、パジャジャラン大学との学術交流、人材育成と経済分野での協力促進等覚書を締結したことの確認と支援の約束。</p> <p>4 県政への反映 西ジャワ州議会の訪問では昨年ベルヤワン前州知事が静岡県にお越しになり、人材育成と経済分野の協力促進に係る覚書を締結し、本年 5 月に静岡県知事がインドネシアを訪問した際には静岡県立大とパジャジャラン大学との連携趣意書に署名が行われた。両国間の交流は確実に広がっており、人材育成や経済分野のみならず、学術、研究、文化交流などにも視野が広がっていくことを期待している。また、日本・インドネシア国交樹立 60 周年記念事業の日本村がジャカルタ市内のイオンモールに出店されており、開村式に参加し現地出席の関係者と懇談し静岡県のアピールに努めた。</p>					



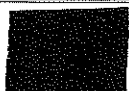
\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>平成30年 9月 30日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議</p> <p>土屋 源由</p>						
目的	日本とインドネシアは、国交樹立60周年を迎え、友好機運が高まっており、静岡県とも西ジャワ州との経済連携や、大学間の交流支援を行っており、県議会としても、この友好状況を確認するとともに、関係強化の一助となる視察を行う。					
年月日	平成30年9月12日(水)～16日(日)					
場所	インドネシア(ジャカルタ・バンドン)					
内容	<p>1 行程    2 応対者    3 聴取内容 (別紙参照)</p> <p>4 県政への反映</p> <p>今回の視察には、インドネシアの在ジャカルタ日本大使館で、日本との交流状況を確認するとともに、静岡県との関係についても説明を受けた。特に、県内より進出している企業の活躍により、静岡県に対する印象は非常に良い状況にあるとの事であった。</p> <p>西ジャワ州に移動しての、日本企業の運営する工業団地では、静岡県の企業の活躍がより鮮明に感じる事が出来た。団地内のカワイ・インドネシアの工場視察では、日本での技術を彷彿させる従業員の働きぶりに感動した。インドネシア人のまじめを感じる事が出来て、人手不足が顕著になっている静岡県に招く政策を進めていくことも検討すべきだと感じた。</p> <p>パジャジャラン大学では、日本語を習っている学生と意見交換を行った。優秀な学生が日本語をマスターして、日本企業に就職する夢があると聞き、静岡県進出企業の人気があることに感激した。実現できれば、企業にとっても大きな力となると思った。</p> <p>西ジャワ州の州議会への表敬訪問では、熱烈な歓迎を受けた。日本有数の企業がある静岡県には、特別な思いを持ってくれている様子が伺えた。交流を進めていくことに少しでも役に立つ議会として、今後もしっかりと中身のある交流をして行くべきと思う。</p>					

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>平成30年9月20日</p> <p>会派名・議員氏名 和田 篤夫</p>						
目 的	<p>本年は、日本とインドネシア国交樹立60周年であり、両国間の友好情勢機運が高まりを見せている。この機をとらえて、県が昨年覚書を交わした西ジャワ州を訪れ、同州議会議員等関係者と面談し、本県との今後の交流について意見を交換する。</p>					
年 月 日	<p>平成30年9月12日～平成30年9月16日</p>					
場 所	<p>インドネシア（ジャカルタ及びバンドン）</p>					
内 容	<p>1 行程 2 応対者 3 聴取内容 4 県政への反映</p> <p style="margin-left: 150px;">} 別添「報告書」参照</p> <p>今回の視察では、まず、在ジャカルタ日本大使館を訪問し、インドネシアと日本との関係についての現況について説明を受けた。それによると、基本的に親日国であり、現在経済協力の多くのプロジェクトが着々と進行中であり、加えて離島開発や水産振興に係るインドネシア側からの要望にも積極的に答えていることが確認できた。その後、K I I Cカラワン工業団地を訪れ、県内企業進出のサポート、企業間の連携等の事業内容を確認、同工業団地の県内企業のカワイインドネシア工場を見学し、日本の技術に負けまいと努力する現地従業員の仕事ぶりを確認できた。パジャジャラン大学では静岡県立大学との関係構築のための趣意書署名後の具体的な交流の進め方等について、大学職員、学生、日本人留学生を交え意見交換、西ジャワ州議会では、エン議長をはじめ州議会議員・関係部局職員など多くの関係者と意見交換し、インドネシア側の、本県との関係交流進展に期待する熱い声を確認、県が進めるインドネシアとの交流について、今後の県としての事業の進め方を注視しつつ、しっかりとバックアップしていきたい。</p>					



決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>平成30年 9月18日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 中沢 公彦</p>						
目的	インドネシア西ジャワ州との様々な交流を目指し 現状と将来性に向けての現地視察					
年月日	平成30年 9月12日 ～ 平成30年 9月15日					
場所	ジャカルタ、バンドン					
内容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容 1～3については報告書参照</p> <p>4 所見、県政への反映 別紙参照</p>					

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

平成30年9月12日～15日

県当局が、インドネシア西ジャワ州との様々な交流を目指していることを踏まえ、わが会派としても現状と将来性に向けての現地視察を行った。



インドネシアは、人口世界第4位の2億4000万人近くであり、その半数以上がジャワ島に集中している。そのため、交通渋滞が尋常じゃないほどひどく、高速道路は慢性渋滞が著しく移動だけで大半が終わってしまうほどである。ちなみに、西ジャワ州の州都バンドンから首都ジャカルタを通り空港まで6時間かかった。インドネシアが今後経済や観光等あらゆる面で発展していくためにインフラ整備は急務でありその成否はインフラにかかっているといっても過言ではない。現在、地下鉄、新幹線等のインフラ整備事業が実施されているが、計画通りにはいかず遅延または実現可能性に疑問が残るなど課題が多い。

西ジャワ州は、人口4600万人州都バンドンで250万人。静岡県の10倍以上の規模である。日本語はほとんど通じず、英語も一般的には通じない。言語における不便さは東南アジアの中でもトップクラスのように感じた。親日で日本企業の進出も多く、日本へ技能実習等で来日するインドネシア人も多いわりに日本とのいろんな意味での距離を感じた。しかし、インフラ整備がある程度進めば、マンパワーや成長率を考えれば可能性は色々あるのではないかと思える部分もある。20年後ぐらいが楽しみである。

州議会議員の方々とのミーティングでは、その辺の彼らの弱点克服に日本の協力を大いに期待している様子がうかがえた。とほいうもの新幹線は中国が受注しているのだが。特にインフラは彼らも恥と感じているようで、整備における静岡県の取り組みを熱心に質問されていた。

大学では、日本語を学ぶ学科が創設され、ようやく日本への姿勢が垣間見れた。ちなみに来年には日本人学校が、西ジャワで初めてできるようである。

国交60周年でもある今年、インドネシアでは対日本の取り組みが色々あるようであるが、日本にいるとそのあたりはピンと来ないのが本音であろう。今後のインドネシアと日本の交流に期待するところである。

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>平成30年9月16日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 鈴木澄美</p>						
目的	<p>本年は日本とインドネシア国交樹立60周年を迎えた。この期をとらえ静岡県は、西ジャワ州との交流のための覚書を交わしたことで、その覚書内容に沿って、どのような交流を進めていくべきか、現地関係者との意見交換を通じて、課題を明らかにする。</p>					
年月日	平成30年9月12日～16日					
場所	<p>9月12日および16日は移動のみで視察はなし。</p> <p>1. 視察日時 平成30年9月13日（木）9：00～10：30          視察場所 在インドネシア日本国大使館          対応者 次席公使 小野啓一 氏          参事官 安藤重実 氏</p> <p>2. 視察日時 平成30年9月13日（木）12：00～15：00          視察場所 カラワン工業団地（KIIC）（西ジャワ州）          対応者 KIIC管理者 高橋拓夢 氏 高見明 氏          PT. FUJITA INDONESIA 代表取締役 藤田佳久 氏          (株)河合楽器製作所 インドネシア総代表 牛尾浩 氏</p> <p>3. 視察日時 平成30年9月14日（金）9：00～11：00          視察場所 国立パジャジャラン大学（西ジャワ州）          対応者 Director of Academic Resources and Library          Dr. t. Yan W. Muda Iskandarsyah 氏</p>					

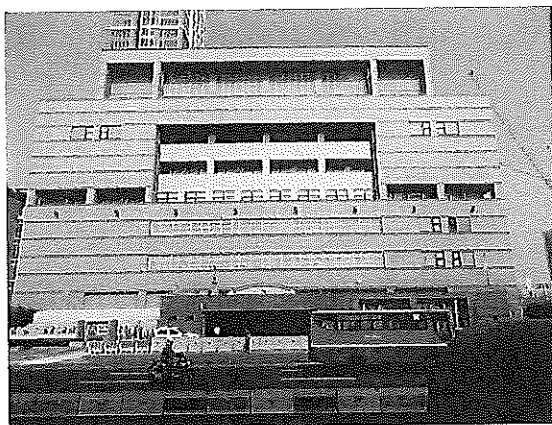
様式第2号

	<p>4. 視察日時 平成30年9月14日（金）13：30～15：00 視察場所 西ジャワ州議会（西ジャワ州） 対応者 州議会議長および各専門委員会委員、行政当局者</p> <p>5. 視察日時 平成30年9月14日（金）9：00～11：00 視察場所 イオンモール ジャカルタガーデンシティ（ジャカルタ） 対応者 日本大使館関係者</p>
内 容	<p>1. 行 程 2. 応対者 3. 聴取内容 4. 県政への反映</p> <p style="text-align: center;">以上について別紙参照</p>

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

## 在インドネシア日本国大使館訪問

視察日時 平成30年9月13日（木） 9：00～10：30  
視察場所 在インドネシア日本国大使館  
対応者 次席公使 小野啓一 氏  
参事官 安藤重実 氏



（在インドネシア日本国大使館）



（表敬訪問した小野公使とともに）

日本国大使館では、次席公使を表敬訪問した後、参事官より、「最近のインドネシア情勢と日インドネシア関係」と題した資料に基づき、説明をいただいた。

最初に、インドネシアにとって2018年の主な方向性について説明があり、6月に統一地方選が終わり、2019年4月17日の総選挙や大統領選挙に向け政治面での活動が本格化する。8月にはアジア競技大会の主催やIMF世銀の総会がそれぞれインドネシア国内で開催される。日本とインドネシア国交樹立60周年を迎え、将来に渡る両国の関係の見通しが示されるなど、重要な年となる。

日本が取り組む対インドネシア経済協力主要プロジェクトは順調に推移している。また、国の大きさは東西に5,500kmで17,000を超える島を抱え、時差が国内で3時間、人口が2億5千万人、平均年齢が28歳で、今後大きな成長が期待できる国である。

日本企業のインドネシア経済への貢献では、各指標も大きな成果が出ており、日本企業の特長は、「人を育てる」姿勢が相手国から高評価を受けており、経済活動を通じて大きな貢献ができ、双方にとって信頼関係が深まる。

しかし、アジア地域の中期的有望事業展開先国・地域では、インドネシアは下降気味という調査結果もあり、透明で公正さが課題であるとも指摘された。などの分析結果も報告された。

視察者からは、日本の人口減少社会と人材確保に対応するため、インドネシア人の受入体制と課題について。また、現地に進出した日本企業における現地従業員の雇用などについて質問し、説明を求めた。これに対し、先ほども触れたが、日本企業の人材育成の効果と評価が高いことから、相手の信頼が得られ、人材確保にプラスとなっていることなどが紹介された。

静岡県にとって、アジア圏で新たに交流を進めるインドネシアは、人材育成を通じて本県経済をはじめとする各分野での双方の共通課題に接点が見いだされ、大きな可能性を秘めていると実感した。



(説明いただいた安藤参事官とともに) (インドネシア情勢について説明を受ける)

## カラワン工業団地 (KIIC) 訪問

視察日時 平成30年9月13日 (木) 12:00~15:00  
視察場所 カラワン工業団地 (KIIC) (西ジャワ州)  
対応者 KIIC管理者 高橋拓夢 氏 高見明 氏  
PT. FUJITA INDONESIA 代表取締役 藤田佳久 氏  
(株)河合楽器製作所 インドネシア総代表 牛尾浩 氏



(KIIC 管理事務所の玄関にて関係者と)



(KIIC の概要説明を聞く)

ジャカルタから東へ60kmほどのところにあり、西ジャワ州の日系商社が設置・運営している、カラワン工業団地(KIIC)を視察した。

最初にKIICの関係者から、インドネシア全体の情勢とジャカルタから東部地域に広がるいくつかの工業団地整備状況、港湾・空港・鉄道・道路などの公共インフラ整備状況についてとKIICの運営状況等の説明を受けた。

インドネシアに日本からの注目が集まっている理由として、内需大国(GDPの約6割)であり人口大国(世界第4位)。豊富な労働力(人口中央値は28歳で勤勉・手先が器用)。所得水準が増加(一人あたりGDPUS\$3,500超)。中間層の拡大(2020年の中間層は2億人)。政治の安定。世界有数の資源国。などを挙げており、これらにより、中期的な経済成長は5.8%にもなる。

インドネシアに進出する県内企業は、92社75事業所のうち、西ジャワ州内に67社70事業所が拠点を置き、そのうちKIICには、25社が進出している、人気の高い工業団地でもある。

日本の企業が進出するに当たり、妻帯者が家族で移住するケースも増え、ジャカルタには商社などの関係者の児童・生徒が通う日本人学校があるが、内陸部にある工業団地が増え、こちらでも製造業に関わる日本人とその家族が増え、来年には新たな日本人学校が工業団地近くに開校するとのことであった。

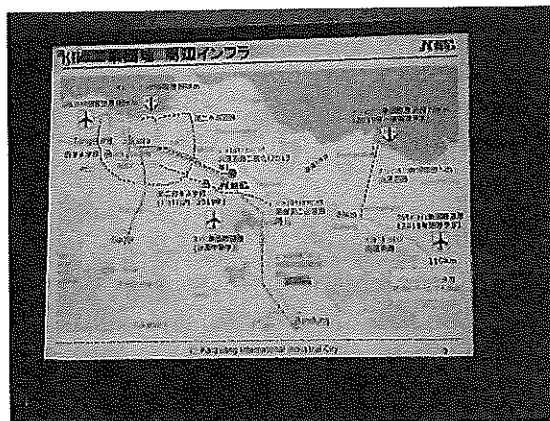
視察者からは、人気のある工業団地ではあるが、これまでの撤退企業状況について訪ねたところ、通貨危機の頃に数社あったが、全体としては事業を継続している企業が多いということであった。

その後は、工業団地内の県内に本拠地を持つ、ピアノメーカーの現地法人を訪れ、人材育成に積極的に取り組み、仕事に責任が持てる従業員を増やし、インドネシアで製造したピアノでも、品質では世界トップレベルに近づけようとする、日本企業らしい取り組みを視察し、最後には、従業員約 20 人のこの現地法人が一体化して大きな目標を達成しようというコーラスの合唱を聴かせていただいた。

大きな感銘を受けるとともに、海外に進出した日本企業の強みを垣間見た思いである。

本県関連企業がインドネシアに進出する際、どこの国でも同じであるが、現地で事業展開するために必要な支援体制や、安定的な環境整備、特に電力需要や上下水道整備は欠かせない。日系企業が運営する工業団地であるからこそ、他国でノウハウを蓄積したことも含めて、日本以外の進出企業が評価している点に注目した。

本県がインドネシアと交流していく上で、県行政が関わる支援策も、この視察を通じて考える機会となった。



(河合楽器関係者から事業展開について聞く) (ジャカルタ近郊の工業団地整備)

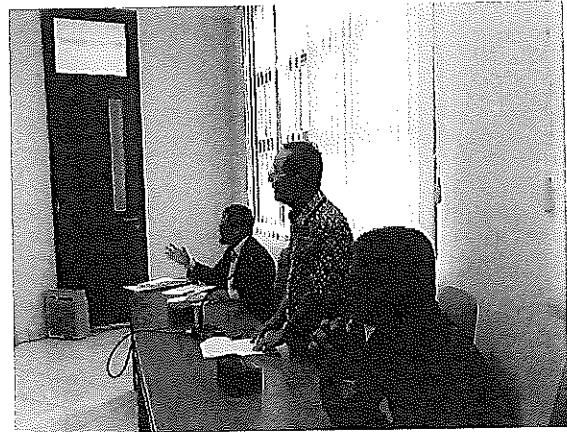


## 国立パジャジャラン大学（西ジャワ州）の表敬訪問と意見交換

視察日時 平成30年9月14日（金） 9：00～11：00  
視察場所 国立パジャジャラン大学（西ジャワ州）  
対応者 Director of Academic Resources and Library  
Dr. t. Yan W. Muda Iskandarsyah 氏



（訪問団と大学、学生達と記念撮影）



（代表団長の多賀県議からあいさつ）



（ミーティングに臨んだ日本語学科教員の皆さん：写真左と大学幹部：写真右）

今年6月に、静岡県立大学とインドネシア西ジャワ州にある国立パジャジャラン大学との間で、人材育成と経済分野での協力関係構築のための趣意書が署名された。また、本県と西ジャワ州は友好交流（人材育成と経済分野）の趣意書に署名し、本県から西ジャワ州に進出している県内企業の支援などをその対象としている。

パジャジャラン大学では、日本語学科のある文学部の教員並びに、日本語学科で学ぶ大学3、4年生と、日本から同大学に留学している6名の日本人学生と意見交換

を行った。

最初に学部の責任者から、静岡県や県立大学との今後の交流に関し、今回の議員団訪問を契機に、どう進めていきたいかについて説明があった。西ジャワ州の文化やジオパークなどに共通性があり、大学としては、これらを通じて双方の「文化と教育」に力を入れていきたいことに触れ、日本の古い文化や新しい文化を知り理解することや、学生達が将来、日本企業への就職も視野に入れていきたいことなどを伝えた。

その後、視察団から大学や学生達との間で様々な質問と意見交換が行われた。



(日本語教員から要望)



(質疑応答に答える議員団)



(日本語で答える学生)



(日本人留学生も参加)

学生達からは、京都の歴史や古い建物に触れることで、心が豊かになるような気持ちになり、日本語を学ぶ機会となった。1ヶ月間の短期日本留学の際には、中学校でインドネシアの文化を伝える機会があった。双方の文化を知ることは大変重要であ

る。また、子どもの頃は、日本のアニメである「ドラえもん」や「クレヨンしんちゃん」などを見て、日本への憧れを感じた。

インドネシア人は明るく、初めてあった人と親しくなれる国民である。静岡県立大学との交流では、学生達は同じ年代なので国が違うことで考え方が異なるかもしれないが、日本とインドネシア文化を通じて、双方の理解を深めたい。

インドネシアと日本、西ジャワ州と静岡県の橋渡しをするために、学生達に何ができるかという問には、文化と教育をテーマに交流を深めたい。

将来どんな仕事に就きたいかでは、インドネシア国内で日本語教師や通訳などに就いてみたい。

昨日訪問した日本のピアノメーカーでは、500人以上の従業員のうち、日本人は6名だった。関係者の話では、役員と従業員をつなぐ中間的なスタッフが必要だという意見を聞いたが、学生達はどう感じるかという問に、3年生になると1~2ヶ月間、日系企業でインターンシップを実施し、日本企業への就職に向けた準備に入るので、企業と学生双方の考え方が一致している。

日本人留学生からは、インドネシア語への関心は、日本で会ったインドネシア人の影響や、観光地としてアジアの中でもインドネシアに注目が集まっていること。日本製の二輪車がインドネシアで大人気なのを知って、そちらの関係の仕事に就きたい。インドネシアではサッカーの人气が高く、自分もサッカーが大好きなことから、その方面で仕事をしてみたいなどの意見があった。

教員からは、双方の大学の交流に関し、日本のお祭り文化をテーマに交流を図りたい。小学生のような子どもに双方の文化を伝える活動。神奈川県「湘南プログラム」を参考に、静岡県版をつくりたいなどの要望が寄せられた。

双方の大学が趣意書に署名したものの、具体的な取り組みはこれからなので、不安とを感じる意見もあった。

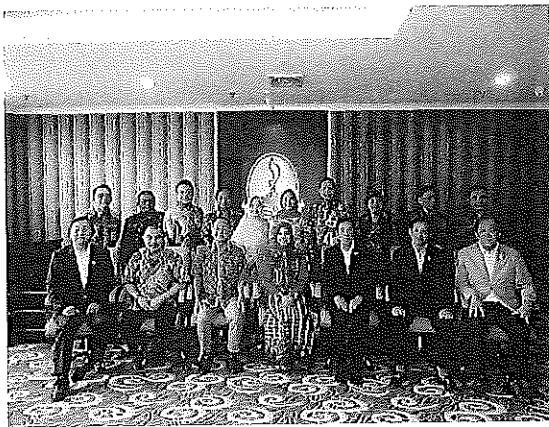
今後の視察では、主体となる課題として、経済分野や人材育成を掲げているが、多岐にわたり交流が深まる気配を感じた。ただ、具体的な取り組みはこれからであり、意見交換会で得た情報をもとに、交流のあり方に関して、具申していきたい。

## 西ジャワ州議会（西ジャワ州）表敬訪問と意見交換

視察日時 平成30年9月14日（金） 13：30～15：00

視察場所 西ジャワ州議会（西ジャワ州）

対応者 州議会議長および各専門委員会委員、行政当局者



（西ジャワ州議会関係者と）



（訪問団長の多家県議から代表挨拶）

西ジャワ州議会の訪問と意見交換では、視察団の代表と西ジャワ州議会議長から、それぞれ今回の訪問をきっかけに、交流がより深まることの期待が表明された。

西ジャワ州の行政や政治、文化、経済、インフラ整備、歴史、地理、教育など紹介するビデオを見た後、今回、署名された趣意書の意義を再確認し、双方がどのように取り組んでいくかについて意見交換を行った。特に、経済分野、人材育成、観光、貿易については、重要な項目として深化させたいという意思表示があった。

その後の意見交換では、来年の西ジャワ州総選挙では、州人口が前回の4,600万人から現在4,800万人に増加したことから、議員定数が100名から122名に増員され、その背景は新たな選挙に関する法律が制定され、このような増員の根拠になっている。

州議会では「国民幸せ指標」を向上させることに傾注しているというが、その内容に就いて質したところ、次の10のパラメーター、①職業、②収入、③住居、④教育、⑤健康、⑥家庭環境、⑦社会との関係、⑧家族と過ごす余暇、⑨環境、⑩治安のそれぞれを数値化して、指標としている。この指標は全国で取り組んでいて、バンドン市は全

国第1位となっている。そのほか、「人材育成指数」があり、①教育、②健康、③消費をチェックし、指数としている説明があった。

さらに、国や地方自治体の総合計画には、この「国民幸せ指数」の目標値が設定されていることにも触れた。

その国毎に政治や選挙制度も異なり、インドネシアにおけるそれについても大変興味深く説明を受けた。また、日本の政治システムについても伝えたところ、大変興味を持たれたようだ。

今後の交流では、主体となる課題として、経済分野や人材育成を掲げているが、多岐にわたり交流が深まる気配を感じた。



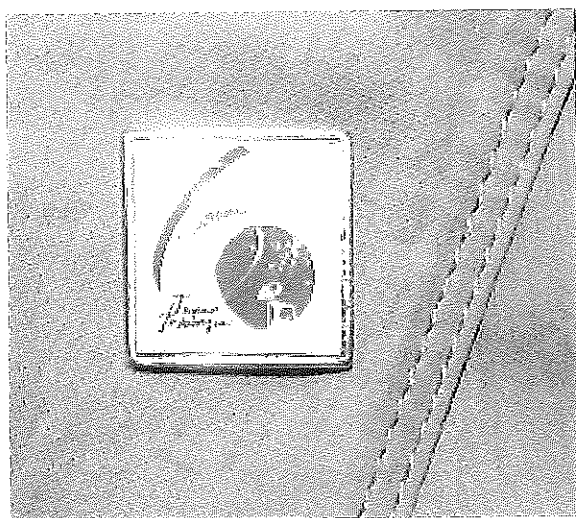
(専門委員会委員長の面々)



(行政当局も参加)

## 日本インドネシア国交樹立 60 周年記念事業視察

視察日時 平成 30 年 9 月 14 日（金） 9 : 00 ~ 11 : 00  
視察場所 イオンモール ジャカルタガーデンシティ（ジャカルタ）  
対応者 日本大使館関係者



（60 周年を記念し、インドネシアの青年が  
デザインしたロゴ）



（日本村 PR のチラシ）

日本とインドネシア国交樹立 60 周年を記念して、西ジャワ州内にある大規模商業施設内で開催されている、記念事業を視察した。

事業名は 60 周年記念を冠に付けた「日本村」で、9 月 14 日から 30 日までの間、開催されている。

視察時は、高知県や和歌山県がそれぞれの県を紹介していたが、静岡県も後日参加予定である。

開催概要は、主催が日本・インドネシア国交樹立 60 周年記念事業運営委員会で、コンセプトは、日本の伝統文化、観光資源、スポーツ交流の場をつくり、インドネシア人に日本に関する新たな「発見」と親しみを感じていただくというものである。

内容は、①日本の地方自治体によるブース出展・資料出展。②日本とインドネシアのバドミントン親善試合の開催。③日本文化を紹介するステージパフォーマンス披露などがある。

先日、ジャカルタにある日本大使館を訪れたときに、60周年記念ロゴについてお話があった。このデザインは、インドネシア東ジャワ州の男子高校生クリスナ・セトヤ・ウイラタマさん(17歳)が発案したもので、「6」がインドネシア国旗、「0」が日の丸、両国を象徴するワヤン「影絵芝居」と桜が描かれている。

60周年のキーメッセージは、「共通の未来に向けて:『共に働き、共に前進する!』」で、目標としては、①過去の成果認知に終わらず、次世代のための協力の方向性を議論。②一層の「心と心の交流」:双方向の観光交流100万人達成を目指す。としている。

今回の視察全般を通じて、キーメッセージやロゴマーク、昨日訪問したパジャジャラン大学での学生達とのミーティングなどは、まさにこの流れを背景にしていることを実感した。

本県と交流はこれからであるが、この時期に現地視察し、それぞれの関係者と意見交換できたことは、今後の進め方について大きな意義があると考えている。

私にとって、30年前に仕事で訪れ、長期滞在の経験があるインドネシアであったが、改めて、この国の素晴らしさと、今後の交流、発展に期待したいと思う。

# 静岡県議会 インドネシア訪問 視察報告

2018(平成30)年9月12日(水)～9月16日(日)



グドゥン・サテ（西ジャワ州政府庁舎）



## インドネシア訪問

### 【要 旨】

本年は日本とインドネシアは国交樹立 60 周年であり、両国間の友好醸成機運が高まりをみせている。この機を捉えて、静岡県が昨年覚書を交わした西ジャワ州等を訪れて同州議会議員等、関係者と面談して今後の交流について意見を交換する。

### 【概 要】

1 期 間：2018年(平成30年)9月12日(水)～9月16日(日)

#### 2 主な行事

- ・ 在ジャカルタ日本大使館表敬訪問
- ・ インドネシア・カラワン (K I I C) 工業団地 視察・訪問
- ・ 国立パジャジャラン大学 訪問
- ・ 西ジャワ州議会表敬訪問

#### 3 主な訪問スケジュール

日付	内容	備考
9/12(水)	11:45 羽田発→17:15 ジャカルタ (GA875)	[ジャカルタ泊]
9/13(木)	在ジャカルタ日本国大使館表敬訪問 K I I C訪問、PTカワイ視察 西ジャワ州バンドンへ移動	ジャカルタ [バンドン泊]
9/14(金)	パジャジャラン大学訪問 西ジャワ州議会表敬訪問	バンドン市内 (西ジャワ州) [バンドン泊]
9/15(土)	日本・インドネシア国交樹立 60 周年記念事業視察 ジャカルタ空港へ移動 23:40 ジャカルタ発 (GA874)	バンドン市内 [機中泊]
9/16(日)	8:50 羽田着	

インドネシア訪問 参加者一覧

	職 名	氏 名	読み仮名	連絡責任者	備考
①	静岡県議会議員 (Member of Shizuoka Prefectural Assembly)	多家 一彦 (TAGA KAZUHIKO)	たが かずひこ	団長	
②	同 上	鈴木 澄美 (SUZUKI SUMIYOSHI)	すずき すみよし		
③	同 上	土屋 源由 (TSUCHIYA MOTOYOSHI)	つちや もとよし	事務局	
④	同 上	鳥澤 由克 (TORISAWA YOSHIKATSU)	とりさわ よしかつ		
⑤	同 上	中沢 公彦 (NAKAZAWA KIMIHIKO)	なかざわ きみひこ		
⑥	同 上	和田 篤夫 (WADA TOKUO)	わだ とくお		

## 1 在ジャカルタ日本大使館表敬

在ジャカルタ日本大使館では、まず、小野啓一次席公使を表敬、多家団長から、静岡県はインドネシアと深い繋がりを持っており、現在インドネシアには92社107事業所の県内企業が進出、特に西ジャワ州にはその7割の67社70事業所があり、昨年人材育成と経済分野の協力促進のための覚書を締結、本年に入り知事が訪問し友好関係をさらに深めることを確認したことを踏まえ、今回、県議会議員有志で西ジャワ州を中心に視察に出向いたことと、対応頂いた大使館に対するお礼を申し上げた。その後、安藤重実参事官から、最近のインドネシア情勢と日インドネシアの関係について説明を受けた。

その内容は以下の通り。

- インドネシアの2018の特性
- 年明けに行われるインドネシア正副大統領選挙
- 日本企業のインドネシア経済への貢献
- 対インドネシア経済協力主要プロジェクトの進捗状況
- 離島開発・水産振興に係るインドネシア側要望
- 日本企業の中期的（～3年程度）有望事業展開先国・地域
- 日本の対インドネシア投資・企業進出に伴う問題
- インドネシアと中国・北朝鮮の関係
- 日・インドネシア国交樹立60周年
- テロ情勢（現状と今後の展望）

細部は、別添資料「最近のインドネシア情勢と日インドネシアの関係」を参照

議員からの質疑は、以下の通り。

- 質問  
ここ数年の事業展開先国・地域の傾向を見ると、インドネシアへの事業展開は下降傾向にあるが、その理由は？
- 回答  
インドネシア国内の企業に対する税の問題と終了許可の問題が影響しているのではないかと。

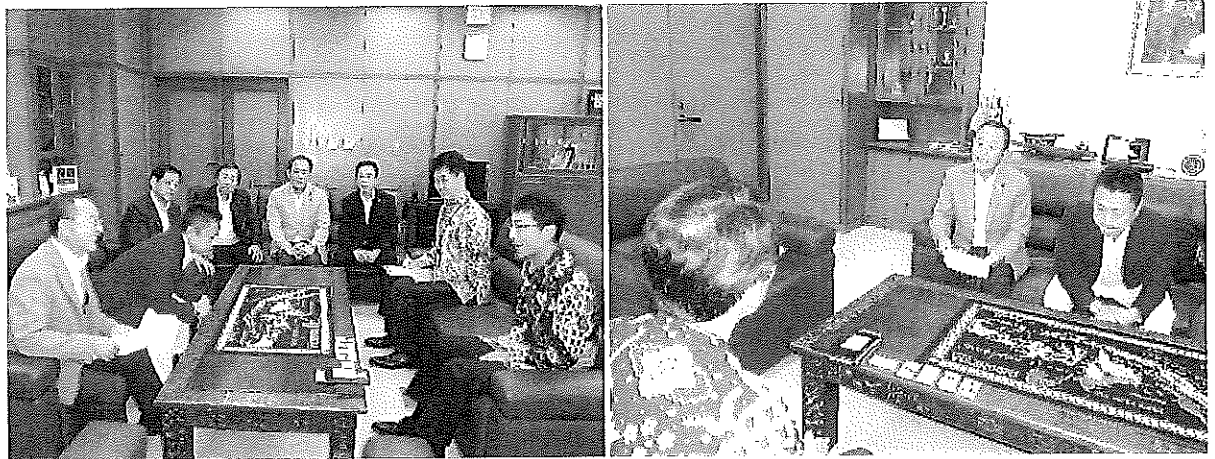


○ 質問

人的交流の今後の見通しは？

○ 回答

日本国内への外国人労働者の受け入れについては、まだまだ制限が多いが、入国管理法の改正も近く行われることから現状より改善することになり、インドネシアは中東よりも日本にとの思いが強くなっている。但し、言葉（フィリピンは英語が話せ、ベトナムは日本語教育が盛ん）と宗教（イスラム教）が現状ではネックとなっているのではないかと感じている。



# 最近のインドネシア情勢と 日インドネシア関係

在インドネシア日本国大使館  
2018年9月

## 1. 今年2018年はどんな年？

### 1. 政治の季節本格化；慎重な舵取りが必要

\* 6月27日 統一地方首長選挙が平穩に実施

(全国の約30%の州、市、県等の自治体)

\* 9月23日～総選挙・大統領選挙キャンペーン開始

(注；総選挙・大統領選挙は、2019年4月17日)

### 2. インドネシアにとって象徴的に重要な年；新時代？

\* 8月18日～9月2日 アジア競技大会主催

(前回は、1962年。2年後に東京五輪。)

\* 10月12日～14日 (予定) IMF世銀総会@バリ

### 3. 日インドネシア国交樹立60周年；夢も課題も

\* 将来の関係を見通すべき年 (“プロジェクト2045”)

\* 日本の「強いところ」を伸ばすべき

# 2. 2019年 インドネシア正副大統領選挙

## 候補者の顔ぶれ

### 大統領候補

ジョコ・ウィドド (現職大統領、57歳) (闘争民主党)

- ソロ(中部ジャワ州)出身。イスラム教徒。
- 2005年～2012年 ソロ市長
- 2012年～2014年 ジャカルタ首都特別州知事
- 2014年～現在 大統領



【日本との関係】 大統領として2度訪日。7回の首脳会談。

### 副大統領候補

マルフ・アミン(インドネシア・ウラマー評議会(MUI)議長、75歳)

- タンゲラン(バンテン州)出身。イスラム教徒。
- 1970年代から国会議員(開発連合党、その後民族党連党)
- 早くからイスラム団体ナフタウル・ウラマ(NU)でも活躍
- 2015年～現在 NU本部諮問委員会議長
- 2015年～現在 インドネシア・ウラマー評議会(MUI)議長



【日本との関係】2018年5月訪日。これまで必ずしも緊密ではないが、出身団体のNUと日本の関係は良好。

### 大統領候補

プラボウォ・スピアント(グリンドラ党党首、66歳)

- ジャカルタ出身。イスラム教徒。
- 1995年～1998年 陸軍特殊部隊司令官
- 1998年 陸軍戦略予備軍司令官
- 2014年～現在 グリンドラ党党首
- 2014年 大統領選挙に出馬



【日本との関係】一定の人的関係あり。甥がインドネシア日本国会議員連盟会長(甥の妻は日本人)

### 副大統領候補

サンディアガ・ウノ(前ジャカルタ州副知事、49歳) (国民信託党)

- ブカンバル(リアウ州)出身。イスラム教徒。
- ウイチタ州立大学(米国)卒、ジョージワシントン大学修士課程修了
- 事業家として活躍。2005年～2008年 青年実業家協会会長
- 2017年～2018年 ジャカルタ首都特別州副知事
- 立候補の際、副知事を辞任、グリンドラ党から国民信託党に移籍



【日本との関係】大の日本景頂。2018年2月に日本政府の招へいで訪日。

#### 独立・支持

9政党で国会議席の60.4%(338議席)を占有

擁立政党: 闘争民主党(109議席)、ゴルカル党(91議席)、民族党連党(47議席)、開発連合党(39議席)、ナスデム党(36議席)、ハヌラ党(16議席)

支持政党: ペリンド党(新党)、インドネシア連帯党(新党)、正義統一党(議席なし)

#### 擁立・支持

5政党で国会議席の39.6%(222議席)を占有

擁立政党: グリンドラ党(79議席)、民主党(61議席)、国民信託党(48議席)、福祉正義党(40議席)

支持政党: フルカルヤ党(新党)

## 今後の選挙日程

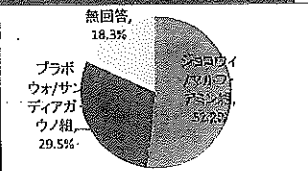
2018年

- 9月20日 正副大統領候補の確定
- 9月21日 名簿順位の確定(1番か2番かを決定する)
- 9月23日 選挙キャンペーン開始(2019年4月14日まで)
- (同時に総選挙のキャンペーンも開始)

2019年

- 4月14日 冷却期間(~4月16日)
- 4月17日 投票日
- 10月20日 新正副大統領就任式

## 世論調査(LSI DJ) 8/12-19)



THE JAKARTA JAPAN CLUB

# 3. 日本企業のインドネシア経済への貢献

Japanese Companies have had a presence in Indonesia since the early 1970s.

Economic partnership is based on a long-term perspective and leads to a win-win relationship.

### Investment

One of the Largest Investment partner with Indonesia in the last 15 years

over 1,900 entities settled in Indonesia

### Employment

4.7\* mil jobs generated via Japanese industries

Working population in formal sector; approx. 53.4 million people (8.9%)

93.3% jobs in Japanese companies in Indonesia filled by Indonesian workers

### Economic Value

10% of Formal Sector GDP in Indonesia

USD 52.5 bil Contribution to Indonesian GDP

### Exports

18.1% of total Indonesian exports are generated by Japanese companies

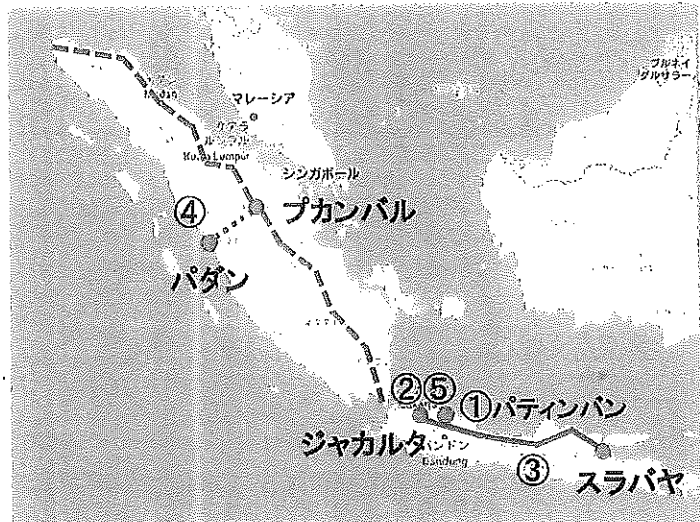
### Infrastructure

Total 12,110 Mega Watts ongoing power plant projects by Japanese initiatives / involvement

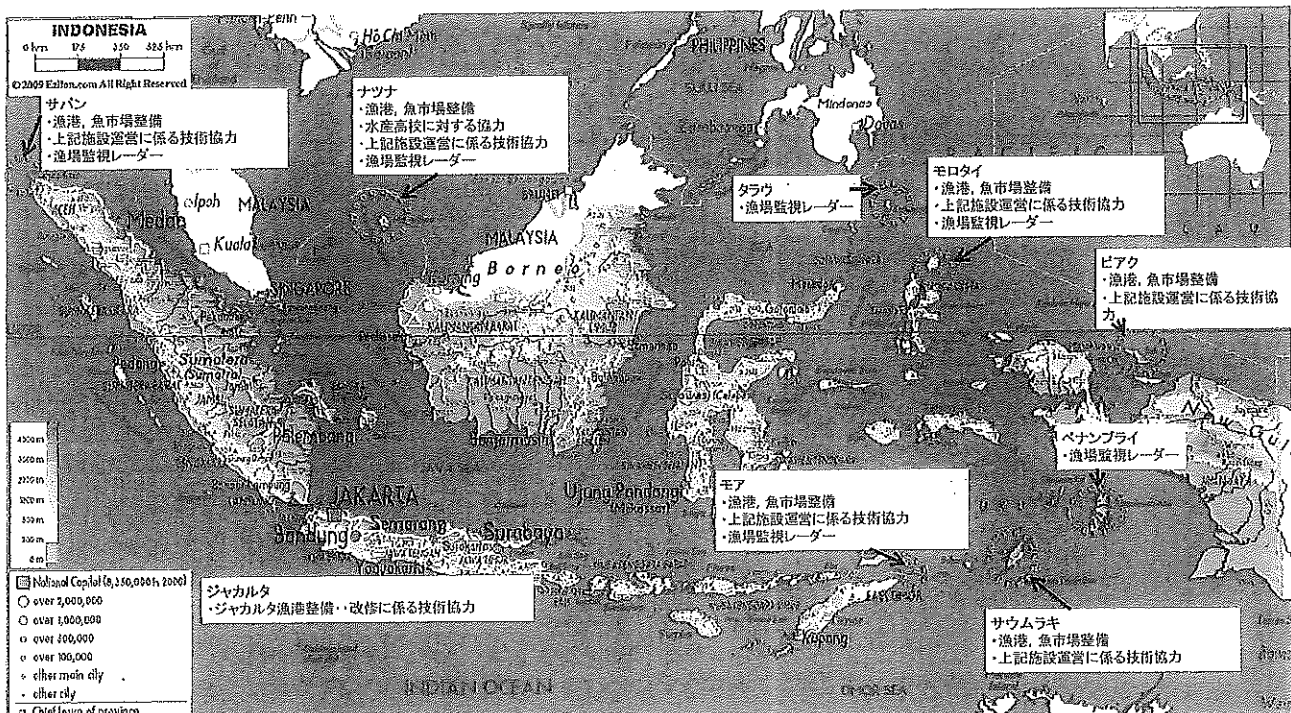
## 4. 対インドネシア経済協力主要プロジェクトの進捗状況

	現状及び今後の目標
①パティンバン新港	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建設(STEP円借款)について昨年11月にE/N、L/A署名。現在入札手続中(一部については、契約済み)。5/21共同視察式実施。</li> <li>●昨年1月の安倍総理御訪問時に日尼企業の共同運営につき合意。尼側が具体的方策を検討中。</li> </ul> <p>☆2019年第1四半期ソフトオープン。</p>
②MRT (マレシア)	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆南北線(フェーズ1)は、8月(アジア大会開催にあわせ)テスト・ラン開始。2019年3月正式営業開始。</li> <li>☆南北線延伸(フェーズ2)につき、尼側は本年内にも「着工」したいと希望。</li> </ul>
③ジャワ北幹線 準高速化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日尼両国で協力して調査継続中。JICAは本年6月にプレF/S最終報告を尼側に説明済み。</li> <li>☆尼側は2019年3月グランドプレーキング希望。</li> </ul>
④スマトラ縦貫有料 道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ジョコウィ大統領より直接協力要請あり。</li> <li>●日本企業の技術活用が期待されるトンネル建設工事を中心に、円借款として案件形成すべく尼政府と調整中。</li> <li>☆尼側は、60周年記念案件として本年内のグランドプレーキングを期待。</li> </ul>
⑤ジャカルタ下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゾーン1はE/S調査中。</li> <li>☆尼側はゾーン6の早期着工を期待。</li> </ul>
⑥離島開発 【次頁地図参照】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昨年9月、具体的協力分野につき合意。</li> <li>●うち漁港・市場整備につき、財政支援型無償E/Nを6/25に署名。</li> </ul>
⑦海上保安協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昨年10月、JICA・海保×BAKAMLA(尼側海保機関)間で2018年度以降3年間の協力につき基本枠組合意。現在、具体的協力内容を協議中。</li> </ul>

- 多くのプロジェクトが着々と進行。
- 2018年～19年に向けて、「成果」を。



## 5. 離島開発・水産振興に係るインドネシア側要望

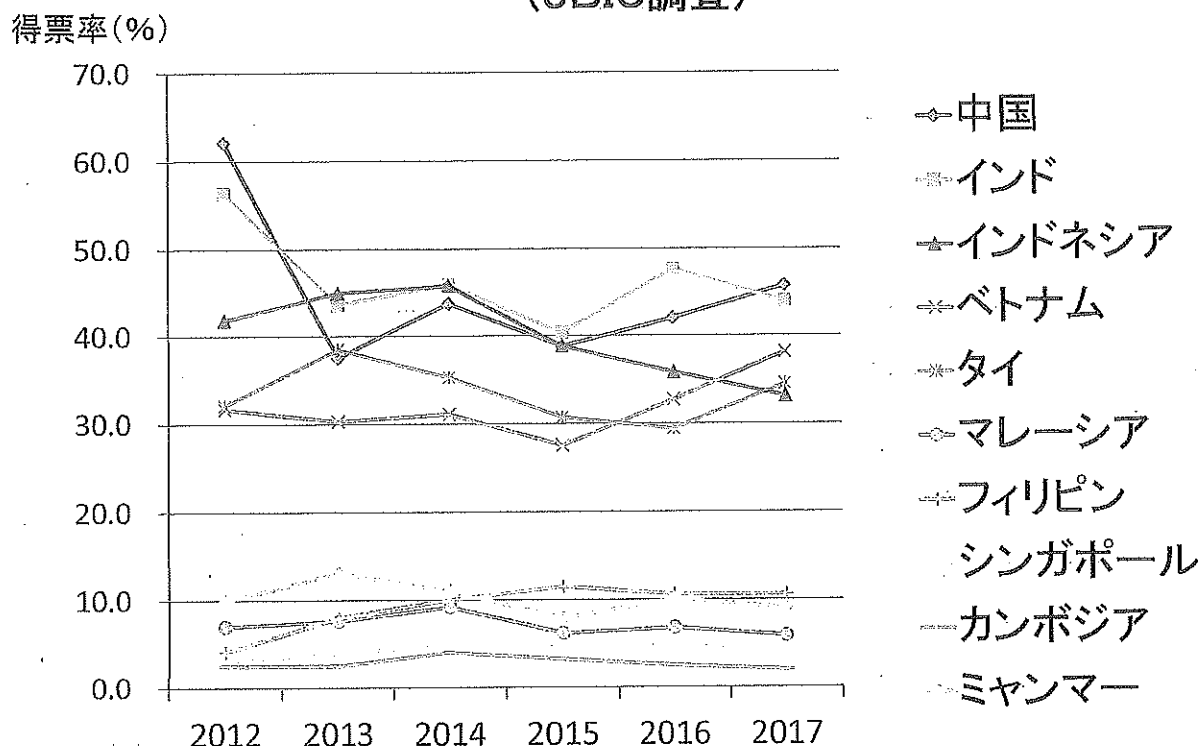


参考:内閣府は、インドネシア海洋担当調整大臣府や海洋水産省と衛星データを活用した漁業資源管理、違法漁船対策等に係る協力について議論してきており、3月に右分野に係るLOIに署名。具体的な協力に繋げるべく、引き続き日尼間で協議していく予定。

その他  
 ・水産分野に係る本邦研修(離島漁村コミュニティ人材育成)  
 ・漁業監視船  
 ・多目的船(医療施設、水産加工研修施設、海洋調査等)  
 ・活魚輸送船

## 6. 中期的(今後3年程度)有望事業展開先国・地域

(JBIC調査)



出典: わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告, JBIC

## 7. 日本の対インドネシア投資・企業進出に伴う問題

◆ 当地日系企業の活動に際しては、インドネシア側の法令・ルール運用面等で様々な規制や問題が存在。

(主要例)

- ネガティブリスト上の外資規制(建設業、小売業等)
- 輸入規制(鉄鋼等)
- プロジェクトへの支払遅延(MRT)
- 税務(法人税還付問題等)
- 労務(査証, 労働許可等)
- 電力事業規制(再エネ電力の買取価格、IPP事業者への過度なリスク転嫁) 等

◆ 大使館は、規制緩和等投資環境向上のため、JJC(ジャカルタ・ジャパンクラブ)と協調しつつ、あらゆる機会を捉えて「イ」政府側に対して問題提起や働きかけを実施。直近も、今年5月のルフット海洋担当調整担当大臣訪日直前に同大臣・JJC間の対話をアレンジ等。

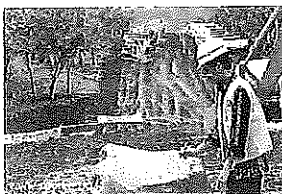


## 8. インドネシアにおける中国の存在は？

- インドネシア華人の人口は約750万人で東南アジア最大。インドネシア人一般の華人に対する感情は歴史的経緯もあり複雑で、中国に対する感情もそのような感情と重なる傾向にある。過去に反華人暴動が発生。
- スハルト政権崩壊後、対中関係は急速に発展。対「イ」直接投資額(2017年)は、日本は2位、中国は3位を維持。17年の中国+香港の投資額は初めて日本を上回った。
- 他方、①中国請負プロジェクトの進捗がはかばかしくないこと(例:ジャカルタ-バンドン高速鉄道)、進め方への不満(例:中国人労働者の存在); 稼働率が低いなど成果の質が低い(例:火力発電所等)こと等から、最近「イ」側には一定の対中不信感が存在。また②2016年からの中国違法漁船のナツナ海域侵入事案の頻発を受け、警戒感と「イ」国内のナショナリズムの高揚により中国への批判が高まった。
- 中国の「一帯一路」に対しては「イ」は歓迎、活用する姿勢。北スマトラ、北カリマンタン、北スラウェシ地域の中国企業の進出・開発を期待(例:中国・青山鋼鉄(世界ステンレス事業最大手)は北スラウェシのニッケル製錬所建設に、これまで約33億ドルを投資)。

直接投資額(2017年)		
国・地域	金額(100万\$)	件数
シンガポール	8441.6	5,951
中国+香港	5477.7	3,134
日本	4996.2	3,646
中国	3361.2	1,977
香港	2116.5	1,157
韓国	2024.6	3,274
米国	1992.8	625
オランダ	1489.4	871
マレーシア	1213.6	1,537
モーリシャス	1056.6	236
英領バージン諸島	844.8	1,109

2016年1月末の起工式で石碑に署名するジョコ大統領



バンドンから北西へ約40KmのCikalong Wetanの工事現場の様子(本年1月12日撮影。JICA提供)

## 9. インドネシア・北朝鮮関係

### ◆ 歴史的経緯

- 1961年外交関係樹立。非同盟諸国の一員として緊密な関係を構築。
- スカルノ初代大統領の長女、メガワティ元大統領(闘争民主党総裁)も金正日と個人的親交を深め、3回北朝鮮を訪問(2002,2005,2011)。

### ◆ 最近の関係

- 北朝鮮のミサイル発射や核実験等の挑発的行為に対し、一貫して厳しいメッセージを発出。
- 要人往来もここ数年ほとんど行われていない。
- クアラ・ルンプール空港の金正男殺害事件にインドネシア人女性が関与。対北朝鮮感情が悪化。ジャカルタ市内にあった北朝鮮レストランが2017年3月に閉鎖。
- 在留北朝鮮人数は1名で、登録北朝鮮企業はゼロ(いずれも2018年1月末現在)。
- 2018年7月、プアン人材開発・文化担当調整大臣(メガワティ元大統領の娘)が大統領特使として北朝鮮を訪問。アジア競技大会開会式の金正恩国務委員長宛招待状を金永南最高人民会議常務委員会委員長に手交(金正恩委員長は出席せず)。

### ◆ 国際社会との連携

- 国連安保理制裁決議の遵守に努力。2016年の貿易量は2012年比で約10分の1。北朝鮮からの鉱物資源の輸入もほぼゼロ。
- 北朝鮮人権状況決議案に対しても、2010年以降、「反対」から「棄権」に態度を変更。
- 他方、北朝鮮との対話の窓口は常にオープンにしておくとの立場。

# 10. 日・インドネシア国交樹立60周年



## キー・メッセージ

Towards a Common Future: "Work Together, Walk Together!"

共通の未来に向けて:「共に働き、共に前進する！」

Menuju Masa Depan Bersama: "Kerja Bersama, Maju Bersama!"

### 【目標】

- ① 過去の成果認知に終わらず、次世代の為の協力の方向性を議論
- ② 一層の「心と心の交流」: 双方向の観光交流100万人達成を目指す



## ロゴマーク

- 11月12日にマニラで行われた日・インドネシア首脳会議で、両首脳から発表。
- 作成者はインドネシア東ジャワ州の男子高校生クリスナ・セトヤ・ウィラタマさん(17歳)。
- 「6」がインドネシア国旗、「0」が日の丸、両国を象徴するワヤン(影絵芝居)と桜が描かれている。



## 主な行事

- 1月19日, 20日: オープニングイベント, 開会式典
- 1月27日: サッカー親善試合
- 5月, 7月, 8月, 10月, 12月「ビジネス&テクノロジーシンポジウム」
- 9月8日, 9日: ジャカルタ日本祭り, 音楽祭
- 9月14日~30日: 「日本村」
- 9月23日: 絆駅伝
- 12月: セミナー「プロジェクト2045」

\*1月, 2月, 3月, 4月, 7月, 9月, 10月に、日本とインドネシアの友好関係や日本とのつながりを紹介する番組を全国ネットの民放で放映。



# 11. テロ情勢(1/4) 一概観一

●2000年以降、アル・カイダ系のジェマー・イスラミヤ(JI)による大規模なテロ事件が続発。

- 2000年 フィリピン大使公邸爆弾テロ事件、クリスマス同時多発爆弾テロ事件
- 2002年10月 バリ島爆弾テロ事件 (死者202名うち邦人2名)
- 2003年 8月 マリオットホテル爆弾テロ事件 (死者12名)
- 2004年 9月 オーストラリア大使館前爆弾テロ事件 (死者10名)
- 2005年10月 バリ島同時爆弾テロ事件 (死者23名うち邦人1名)

●2009年7月にジャカルタ (死者9名。米国系ホテル2か所) で発生した同時爆弾テロ事件以降、大規模なテロ事件は発生せず。

●全体的に治安情勢は安定していたところ、2016年1月14日、ジャカルタのカフェ及び交通警察を狙った爆弾テロ事件 (死者8名うち犯人4名) が発生。ISILが犯行声明を発出。

●2017年5月24日、東ジャカルタのバスターミナル及び警察官を狙った爆弾テロ事件 (死者: 警察官3名、犯人2名) が発生。

## 12. テロ情勢(2/4) —最近の事案—

2018年

5月8日 国家警察機動隊本部留置施設での暴動

(西ジャワ州デボック)

(警察官5名死亡。最終的にはテロ受刑者155名が投降、移送される。I S I L 犯行声明あり。)

5月13日 スラバヤでのキリスト教会同時多発自爆テロ事件

(3つの教会で自爆。犯人6名を含む18名が死亡、40名以上が負傷。犯人は6人家族の一家。主犯(夫)はJAD(Jamaah Anshar Daulah) スラバヤのリーダーとされる。ISIL犯行声明あり。)

5月13日 スラバヤ近くのシドアルジョでの爆発事件

(犯人とその家族計3名が死亡)

5月14日 スラバヤ市警察署での自爆テロ事件

(実行犯4名死亡。警察官他数名が負傷。I S I L 犯行声明あり。)

5月16日 リアウ州警察本部への襲撃事件

(警察官1名と犯人4名が死亡)

## 13. テロ情勢(3/4) —ISILの影響—

●2016年以降のテロ事件には、ISILの影響を受けたグループが関与。アル・カーイダ(AQ)系のJIが関与した2009年までのテロ事件とは主体、背景、手法とも異なる。

標 的： 欧米権益  
→ 主に警察(官)、異教徒を狙う傾向に。

手 法： 高威力爆弾(車載も)、同時多発  
→ 低威力爆弾(携帯型)、刃物等の簡素な武器を使用、  
場当たりの犯行、女性の関与も

犯行主体： 組織力のあるテログループ  
→ 組織活動歴のない者を含む小規模グループ。  
緩やかな相互連携も。

## 14. テロ情勢(4/4)ー今後の展望ー

●国内のI S I L支持者は、小さなセルを形成し、引き続き活動。2018年5月末の反テロ法改正以降、各地で約300人が逮捕されているものの、脅威は継続。J I等の他のイスラム過激派グループも、I S I L支持勢力の活動に刺激を受け、活動を活発化させる可能性があり、依然として状況は流動的。

●アジア競技大会やクリスマス・年末年始をはじめ、引き続きテロに対する警戒を維持する必要がある。

KIIC カラワン工業団地 視察  
カワイ・インドネシア工場 視察

視察日時 平成 30 年 9 月 13 日 (木) 13:00～15:30

視察場所 KIIC (Karawang International Industrial City) 事務所  
カワイインドネシア工場

対応者 KIIC 会長 藤田義久氏 (PT. FUJITA INDONESIA 社長)  
KIIC Acting Director 高見明氏  
KIIC Director 高橋拓夢氏  
株式会社 河合楽器製作所 牛尾浩氏 (インドネシア総代表)



昼食時に、自己紹介、インドネシアの状況や KIIC の内容説明を雑談しながら、工業団地の成り立ちなどのレクチャーを受けた。

#### <現状>

インドネシアへの日本企業の進出状況は、この工業団地内でも、主に自動車・2 輪車関係の企業進出が多く、インドネシア国内での日本車の割合は 99%、2 輪車の割合は 95%が示すように好調に推移している。

インドネシアに進出する県内企業は 92 社、西ジャワ州内に 67 社が拠点を置くが、この団地に 120 社が進出しているが、県内企業が 25 社進出しているとの事だ。カワイインドネシアもその内の 1 社であり、牛尾氏は前会長を務めていたそう。

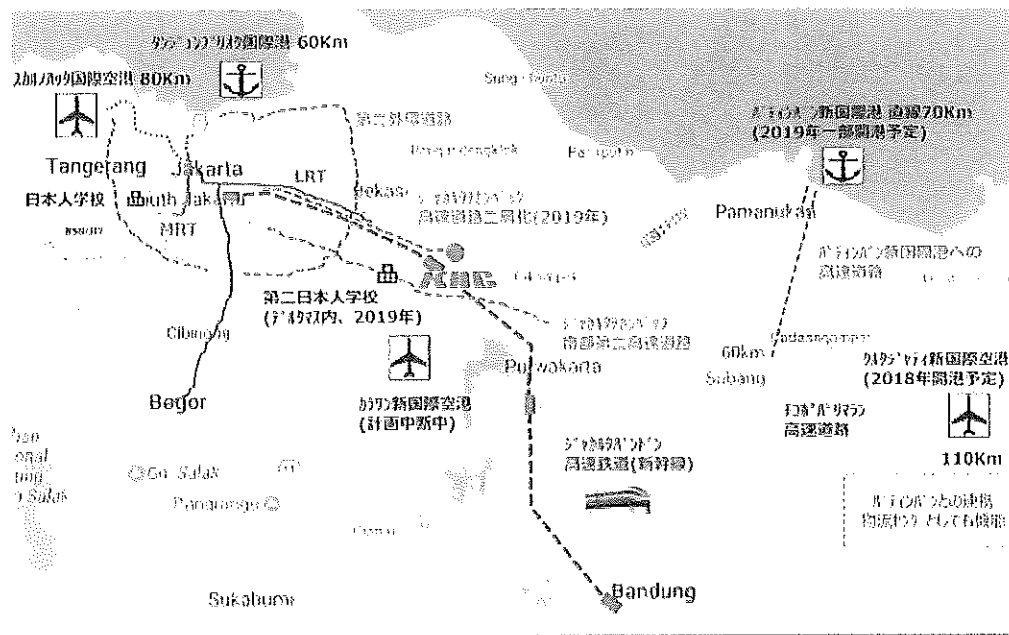
<工業団地の内容>



(KIIC の事務所ビル)

事務所の2階会議室で、KIICの事業内容や進出企業へのサポート、企業間の連携等事業内容や、拡張工事による企業誘致も行っていると説明があった。

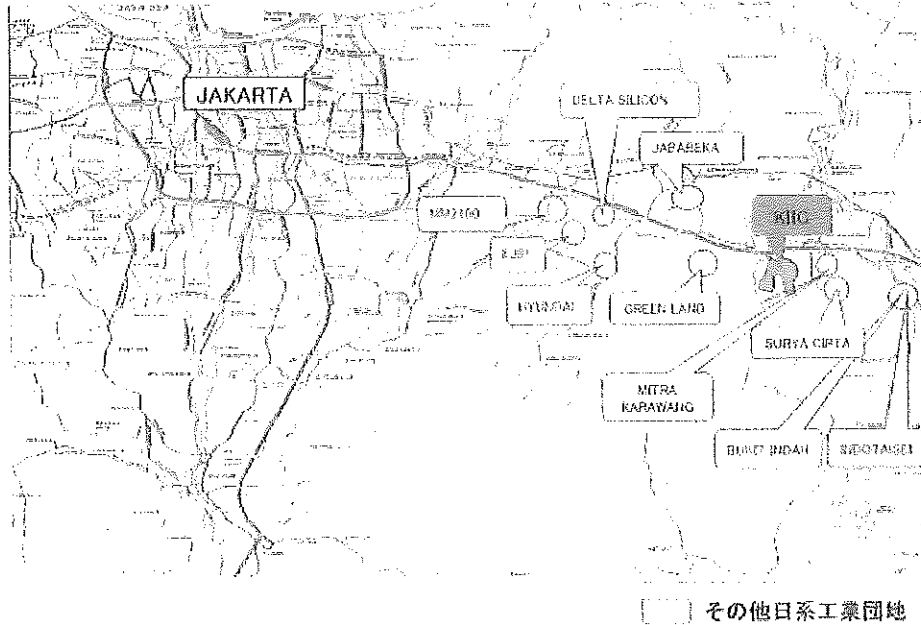
KIIC工業団地 周辺インフラ



© Karawang International Industrial City

新しい港や飛行場、高速鉄道や高速道路の予定が周辺では進んでいる。

## KIIC ロケーション マップ



西ジャワ州には、KIIC の近くに日系の工業団地がいくつもあり、特色を出しながら企業誘致を行い、海外進出する企業の後押しをしている。

### KIIC カラワン工業団地 (Karawang International Industrial City)

#### レンタル工場のご案内

伊藤忠グループによる安心の経営主体  
日系企業多数進出済み

- 全棟、日系社宅に同等の設備
- 各棟には、専用の事務所スペースを備えています。24時間、設備管理が受け付け

- 様々な用途が可能なサービスエリア
  - 共同のサービスエリア: 日本料理、コンビニエンスストア
  - 24時間対応のセキュリティ管理システム
  - 各種サービス: 24時間対応のセキュリティ管理システム
- 直営店があるから、レストラン、美容室、コンビニ、日用品店
- 24時間セキュリティ監視/警備・防犯カメラ、監視、火災が心配!

#### 敷地案内

#### 第1期 賃貸開始 2014年1月

区分	面積	1階	2階
1	1,427	1,427	0
2	1,427	1,427	0
3	1,427	1,427	0

#### 第2期 賃貸開始 2014年2月

区分	面積	1階	2階
4	1,427	1,427	0
5	1,427	1,427	0
6	1,427	1,427	0

#### 第3期 賃貸開始 2014年3月

区分	面積	1階	2階
7	1,427	1,427	0
8	1,427	1,427	0
9	1,427	1,427	0

※ 日本人社団専用で日本人が居ることが多いです。ご見学のご希望は、お気軽に伊藤忠グループまでお問い合わせください。

**KIIC**  
 KARAWANG INDUSTRIAL CITY  
 PT. SANGRETTI IMMAPIE GROUP INDONESIA  
 Jalan KH. 251/3-4  
 P. O. Box 100001, Jember, 60100, Indonesia

詳細は別途お問い合わせ下さい 担当: 高見、中村  
 TEL : +62 21 879 1856  
 携帯 : +62 811 913 582, +62 812 1182 599  
 E-Mail: info@kiic.or.id, info@kiic.or.id

日本語版の工業団地案内まで用意している。

## <主要施設>

### (1) 工場敷地

① 高さ：海拔 30～95M

② 地盤：・造成前在来地層：表層 風化火山層  
下層 硬質粘土層及び固結粘土層

- ・切土地盤及び盛土地盤（各敷地により異なる）
- ・地耐力目安（長期許容支持力）：切土 10 t 以上 盛土 5 t 以上
- ・通常の 2 階建の建物は直接基礎で可。  
但し、重量機械等の大きな集中荷重や振動のある建物で地耐力超える場合は杭基礎等の検討必要。

### (2) 団地内道路

幹線道路：全体幅 37M～47M、8M（2車線）×2方向 計4車線舗装

一般道路：全体幅 29M 10M（2車線）×2方向 計2車線舗装

\*全体幅の中には、車線とは別に、歩道、雨水側溝、街灯が含まれ、幹線道路には上記に加え、中央分離帯或いは中央雨水溝がある。

### (3) 電気

・PLN（電力公社）からの供給。  
但し、安定供給実現のため、KIIC～PLN間で優先供給契約（プレミアムサービス）を締結。

・これ以外にも、KIIC～PLN間の包括変電契約により、工業団地内に KIIC 専用の変電所を建設。同変電施設にて 240MW(60MW×4基)契約済み。

等々の施設の概要を詳しく解説し、他にも天然ガスや給水、下水処理や通信についても、進出企業の獲得に向けた努力がなされていた。





## KIIC 内のカワイ・インドネシア工場 視察



(牛尾社長と現地スタッフ)

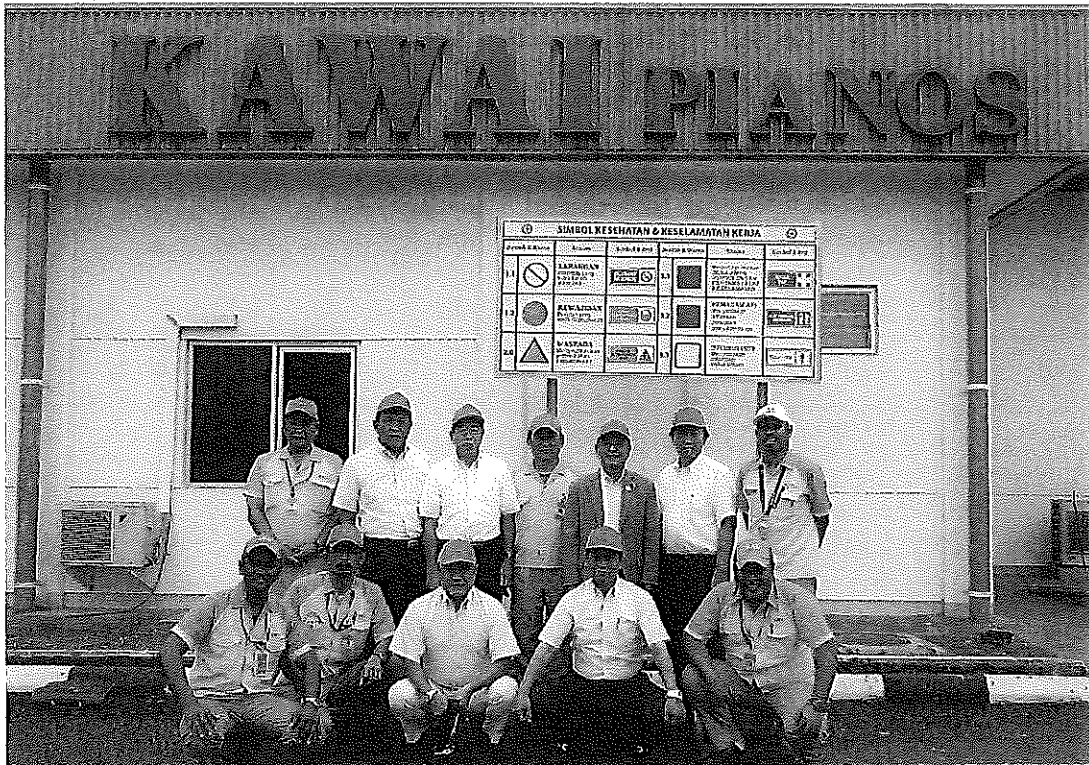
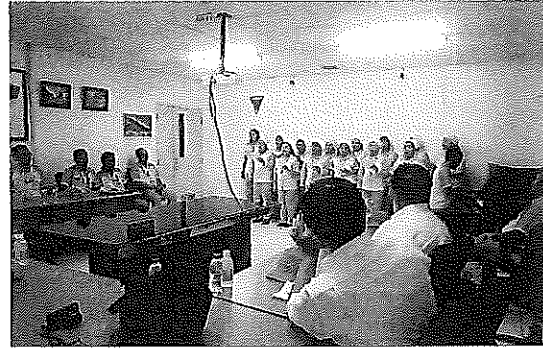
KIIC 内のカワイ・インドネシア工場に場所を移し、ピアノ製作の工場を見学することになったが、工場内はカメラ撮影禁止のため、出迎えてくれた授業員からの説明を受けてからの見学であった。授業員のほとんどがインドネシア人の近隣の人達で、日本人は社長も入れて 4~5 人であるとの事であった。ただ、KAWAI の従業員としての誇りを持って働いていることに感銘を受けた。



まずは挨拶が大切との教えが浸透しており、行く先々で挨拶をされた。昔は、インドネシア製のものは全てにダメと言われた時代から、やれば出来るとの信念のもと、

従業員と一緒に頑張り、今では製作されたピアノの 98% を輸出しており、お客様からの評価も高いと聞いた。

工場の視察を終えて、事務所に戻ってくると、現地従業員のコーラスグループより、歓迎の歌を聞かせてくれた。



#### <まとめ>

カワラン工業団地の視察から、インドネシアに進出する日本企業の奮闘努力を垣間見ることが出来た。働き手の確保や交通渋滞、国の政策の不安定など、ある程度のリスクを飲み込みながら事業展開している。人口の多さ（世界4位）からくる労働力の確保などや人件費・物価の安さを最大限に生かすと大きな魅力であり、インドネシア人の人柄・勤勉さは海外進出にも納得が出来た。自動車・2輪車をメインとした日本企業の活躍は今後も期待したいと思う。

河合楽器の工場視察から日本人より日本らしい現地従業員の活躍を見ると、技術や精神が受け継がれていれば、日本と同様ので製品が出来ると確信した。



**PT. FUJITA INDONESIA**

代表取締役社長

藤 田 保 久

**YOSHIHISA FUJITA**

DIRECTOR



Jl. Mulyo No. 10 H-2A Kawasan Industri CIBU  
Kawasan Industri CIBU, West Java Indonesia  
Telp. 021-8924777 / 021-8924782 / 021-8924783  
Fax. 021-8924755  
HP. 0813-8924784  
E-mail y.fujita@kawai.com

**KAWAI**

株式会社川崎  
KAWAI CORPORATION  
KAWAI ENGINEERING CO., LTD.  
KAWAI ELECTRIC CO., LTD.  
KAWAI WIRE CO., LTD.  
KAWAI WELDING CO., LTD.  
KAWAI PNEUMATIC CO., LTD.  
KAWAI RIGGING CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (INDONESIA) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (THAILAND) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (MALAYSIA) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (PHILIPPINES) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (VIETNAM) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (CAMBODIA) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (LAOS) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (MYANMAR) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (BURMA) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (SINGAPORE) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (HONG KONG) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (AUSTRALIA) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (NEW ZEALAND) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (CANADA) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (USA) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (EUROPE) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (AFRICA) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (MIDDLE EAST) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (ASIA) CO., LTD.  
KAWAI RIGGING & CONSTRUCTION (OCEANIA) CO., LTD.



高 尾 明

**A. TAKAMI**

代表取締役

明 尾 明

PT. MAJDI PERMATA INDUSTRIAL ESTATE

PT. HARAPAN ANANG BARRIS BONE

PT. HARAPAN ANANG INDUSTRIAL ESTATE

Jl. Mulyo No. 10 H-2A

Kawasan Industri CIBU, West Java Indonesia

Telp. 021-8924777 / 021-8924782 / 021-8924783

Fax. 021-8924755

HP. 0813-8924784

E-mail y.fujita@kawai.com

www.kawai.com



高 尾 基 夢

**HIROMI TAKAHASHI**

代表取締役

高 尾 基 夢

PT. MAJDI PERMATA INDUSTRIAL ESTATE

PT. HARAPAN ANANG BARRIS BONE

PT. HARAPAN ANANG INDUSTRIAL ESTATE

Jl. Mulyo No. 10 H-2A

Kawasan Industri CIBU, West Java Indonesia

Telp. 021-8924777 / 021-8924782 / 021-8924783

Fax. 021-8924755

HP. 0813-8924784

E-mail y.fujita@kawai.com

www.kawai.com

## 西ジャワ州大学と州議会訪問

視察日時 平成30年9月14日（金）9：00～11：00

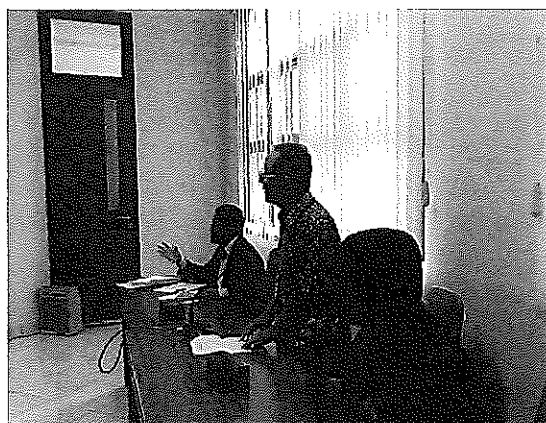
視察場所 国立パジャジャラン大学（西ジャワ州）

対応者 Director of Academic Resources and Library

Dr. t. Yan W. Muda Iskandarsyah 氏



（訪問団と大学、学生達と記念撮影）



（代表団長の多賀県議からあいさつ）



（ミーティングに臨んだ日本語学科教員の皆さん：写真左と大学幹部：写真右）

今年6月に、静岡県立大学とインドネシア西ジャワ州にある国立パジャジャラン大学との間で、人材育成と経済分野での協力関係構築のための趣意書が署名された。

また、本県と西ジャワ州は友好交流（人材育成と経済分野）の趣意書に署名し、本県から西ジャワ州に進出している県内企業の支援などをその対象としている。

パジャジャラン大学では、日本語学科のある文学部の教員並びに、日本語学科で学ぶ大学3、4年生と、日本から同大学に留学している6名の日本人学生と意見交換を行った。

最初に学部の責任者から、静岡県や県立大学との今後の交流に関し、今回の議員団訪問を契機に、どう進めていきたいかについて説明があった。西ジャワ州の文化やジオパークなどに共通性があり、大学としては、これらを通じて双方の「文化と教育」に力を入れていきたいことに触れ、日本の古い文化や新しい文化を知り理解することや、学生達が将来、日本企業への就職も視野に入れていきたいことなどを伝えた。

その後、視察団から大学や学生達との間で様々な質問と意見交換が行われた。



(日本語教員から要望)



(質疑応答に答える議員団)



(日本語で応える学生)



(日本人留学生も参加)

学生達からは、京都の歴史や古い建物に触れることで、心が豊かになるような気持ちになり、日本語を学ぶ機会となった。1ヶ月間の短期日本留学の際には、中学校でインドネシアの文化を伝える機会があった。双方の文化を知ることには大変重要である。また、子どもの頃は、日本のアニメである「ドラえもん」や「クレヨンしんちゃん」などを見て、日本への憧れを感じた。

インドネシア人は明るく、初めてあった人と親しくなれる国民である。静岡県立大学との交流では、学生達は同じ年代なので国が違うことで考え方が異なるかもしれないが、日本とインドネシア文化を通じて、双方の理解を深めたい。

インドネシアと日本、西ジャワ州と静岡県の橋渡しをするために、学生達に何ができるかという問には、文化と教育をテーマに交流を深めたい。

将来どんな仕事に就きたいかでは、インドネシア国内で日本語教師や通訳などに就いてみたい。

昨日訪問した日本のピアノメーカーでは、500人以上の従業員のうち、日本人は6名だった。関係者の話では、役員と従業員をつなぐ中間的なスタッフが必要だという意見を聞いたが、学生達はどう感じるかという問に、3年生になると1~2ヶ月間、日系企業でインターンシップを実施し、日本企業への就職に向けた準備に入るので、企業と学生双方の考え方が一致している。

日本人留学生からは、インドネシア語への関心は、日本で会ったインドネシア人の影響や、観光地としてアジアの中でもインドネシアに注目が集まっていること。日本製の二輪車がインドネシアで大人気なのを知って、そちらの関係の仕事に就きたい。インドネシアではサッカーの人气が高く、自分もサッカーが大好きなことから、その方面で仕事をしてみたいなどの意見があった。

教員からは、双方の大学の交流に関し、日本のお祭り文化をテーマに交流を図りたい。小学生のような子どもに双方の文化を伝える活動。神奈川県「湘南プログラム」を参考に、静岡県版をつくりたいなどの要望が寄せられた。

双方の大学が趣意書に署名したものの、具体的な取り組みはこれからなので、不安とを感じる意見もあった。

今後の視察では、主体となる課題として、経済分野や人材育成を掲げているが、多岐にわたり交流が深まる気配を感じた。ただ、具体的な取り組みはこれからであり、意見交換会で得た情報をもとに、交流のあり方に関して、具申していきたい。

## 西ジャワ州政府訪問

日時：平成30年9月14日 13時30分より14時30分  
場所：西ジャワ州議会庁舎



州議会庁舎に到着し正面玄関にて、担当官の出迎えにより二階会議室に案内されエン議長をはじめとして、州議会議員・関係部局職員など多くの関係者の出迎えを受けた。

地元マスコミ関係者の取材がある旨の説明があり、取材関係者も同席した。冒頭、映像による西ジャワ州の概要説明があり、現状把握の理解に有益な情報を得た。

続いて当訪問団代表の多賀県議より、表敬訪問の挨拶が述べられた。

### 西ジャワ州議会 表敬訪問多賀県議の挨拶要旨



本日は、ご多忙の中、静岡県議会インドネシア訪問団の視察を受け入れてくれて、心より感謝申し上げます。

本年は、日本・インドネシア国交樹立 60 周年の記念すべき年であり、静岡県議会代表団も今回、インドネシアを訪問し、西ジャワ州議会の皆様とお会いできることは誠にうれしく思います。

昨年、ヘルヤワン前州知事が静岡県にお越しになった際は、人材育成と経済分野での協力推進に係る覚書を締結し、静岡県立大学とパジャジャラン大学とが趣意書の署名に立ち会ったと聞いております。

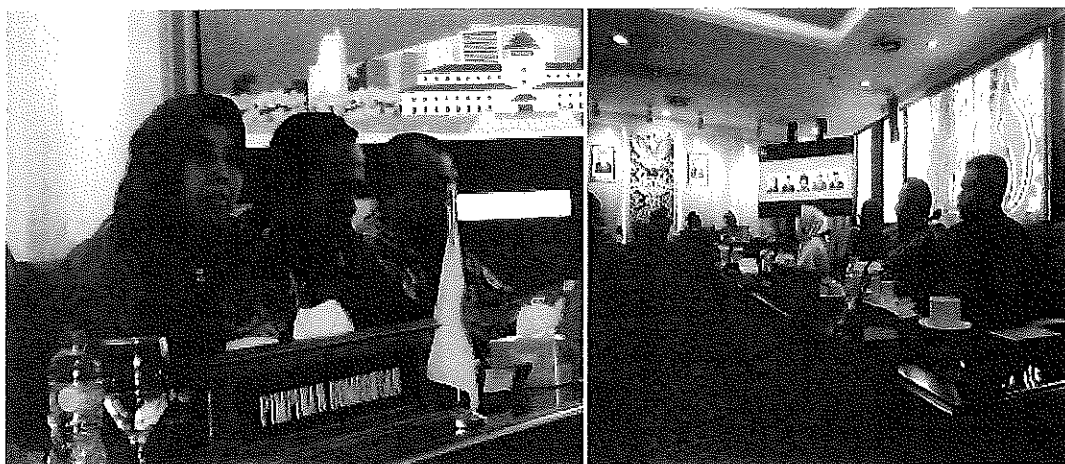
両県州間の交流は確実に広がりを見せており、人材育成や経済分野のみならず、学術・研究・文化交流などにも裾野が広がっていくことを期待しています。両県州間の交流について心強いサポーターも大勢いる。貴州には、本県の進出企業のおよそ 7 割を占める（67 社 70 事業所）があり、昨日は、K I I C 工業団地にあるカワイインドネシアを視察した。

こうした県内企業は、西ジャワ州の発展に貢献することはもとより、西ジャワ州の人々とも強いつながりを持っている。西ジャワ州をよく知っている彼らも、本県と西ジャワ州との交流を非常に歓迎していることを肌で感じました。

今後は、静岡県議会としても、インドネシア西ジャワ州議会との交流を進め、揺るぎない信頼関係を構築していきたいと考えています。

最後に、改めて日本とインドネシア国交樹立 60 周年を迎えるという記念すべき年に、西ジャワ州議会の皆様方とお会いできたことに感謝申し上げますとともに、今回の訪問により両県州の交流が更なる発展することを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

## エン議長より歓迎の言葉





西ジャワ州幹部の皆様、各委員長、会派長、訪問して下さった静岡県議会議員の皆様こんにちは。本日、西ジャワ州との友好を高める機会を得たことに感謝します。

多摩県議様、静岡県議会議員の皆様バンドンや西ジャワ州は、今乾季でとても暑く感じる事でしょう。議員の皆様が西ジャワ州議会を訪問頂き大変うれしく思います。益々絆が深まる事と思います。

静岡県議会議員の皆様と私達とは、目的は一緒です。国民の声をよく聞きそれを実現しなければなりません。我々にできる事を国民は、期待しています。

先ほどビデオでご覧になったように、2014年の総選挙の結果100人の議員が当選して、10の政党で8の会派が誕生しました。男性78人女性が、22人となっています。本年度は、大統領選挙が同時に行われ人口増加により4800万人となり議員も100名から120名に増員となります。

西ジャワ国民代表、州政府とともに3つの役割を担っています。

1) 条例の制定 2) 予算の策定 3) 行政監視

国民のニーズをよく聞いて予算を立案し、予算執行状況の検証を行う事が重要です。

西ジャワ州政府と静岡県とは2017年11月2日に人材育成及び経済分野での協力推進に関わる覚書に調印しました。両者の間の発展的な関係に大きく寄与することと思います。

今私達、西ジャワ州政府が取り組んでいる需要施策は

1) インフラ整備 2) 国民の福祉など国民の幸せの向上を目指しています。

新知事は、IT活用などを中心に簡単ではないが、世界経済に遅れることなく中央州政府と西ジャワ州政府の協力体制により発展的な道を歩いていきたいと思いをします。

本日の訪問が、意見交換の場で終わることなく双方にとって交流と絆がより深まる機会となるよう希望致します。

最後によろこそ西ジャワのバンドンにお越しくださいませありがとうございます。静岡に御帰りになっても忘れないで下さい。

挨拶の後意見交換に入った。(質問要旨)

1) 静岡県は、議員定数については、削減傾向にあるが先ほど議員定数についての説明がありましたが、その判断基準となる基礎的な考えは何か。

新たな法律のもと、人口増加による民意に反映による2014年西ジャワ州4800万人ジャワ島・東部ジャワなど増加傾向があるため検討された。

## 2) しあわせ指標の指標とは何か

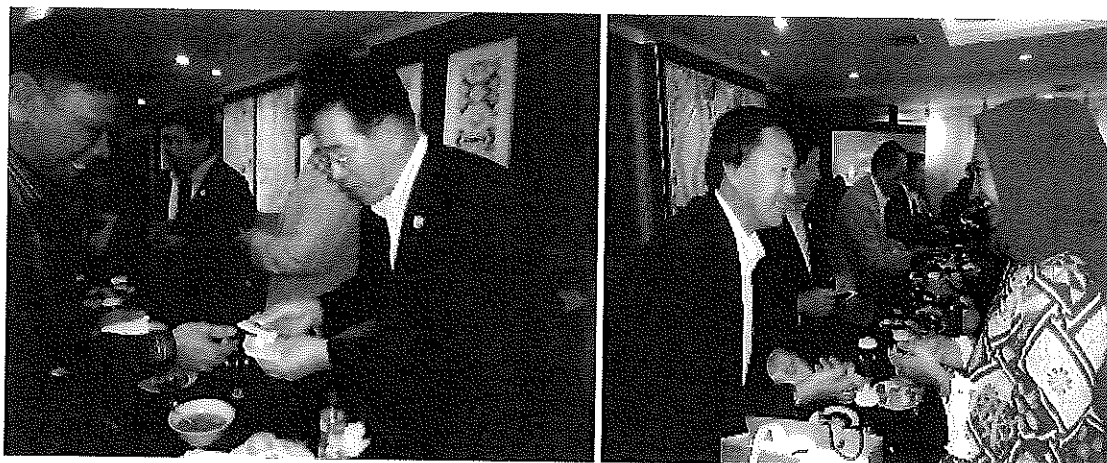
しあわせ指標は、元バンドン市長が提唱しバンドン市民の為要望が多かった公園整備をはじめ市民に対して意識調査を行い施策に反映した。

幸せ指標の項目

- ①職業安定      ②収入      ③居宅      ④教育      ⑤健康      ⑥家庭  
の状況      ⑦社会との関係      ⑧家族のために尽くす度合      ⑨環境  
⑩治安

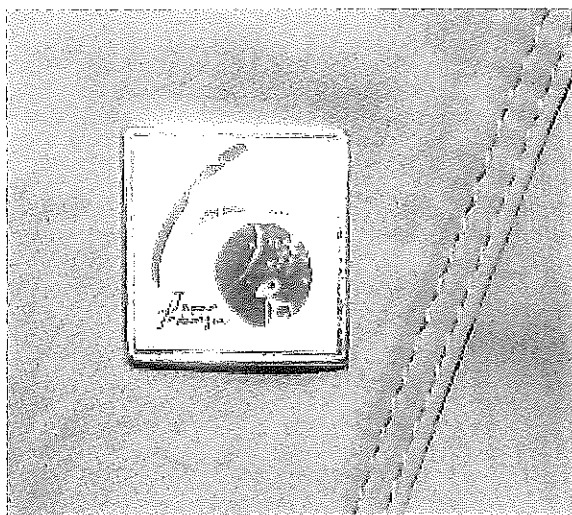
- ・バンドンの近くに新国際空港が開港した、西ジャワ州と静岡県の旅社を通して観光事業の相互の発展的関係を構築したい。
- ・浜松を訪問したが、街がきれいだと感じた。インフラ整備が進んでおりアスファルトの穴が無く渋滞がない。
- ・日本では、議員立候補するのに特別な要件はあるのか。(多家県議より答弁)
- ・工業団地視察の際に、各企業から西ジャワ州にクレームはりませんでしたか。
- ・議会運営に関する項目
- ・将来に渡る両国の展望
- ・静岡県と西ジャワ州との交流促進等の意見交換があった。

終始和やかな雰囲気の中各議員同士の絆が深まり、有益な時間となった。



## 日本インドネシア国交樹立 60 周年記念事業視察

視察日時 平成 30 年 9 月 14 日（金） 9 : 00 ~ 11 : 00  
視察場所 イオンモール ジャカルタガーデンシティ（ジャカルタ）  
対応者 日本大使館関係者



（60 周年を記念し、インドネシアの青年が  
デザインしたロゴ）



（日本村 PR のチラシ）

日本とインドネシア国交樹立 60 周年を記念して、西ジャワ州内にある大規模商業施設内で開催されている、記念事業を視察した。

事業名は 60 周年記念を冠に付けた「日本村」で、9 月 14 日から 30 日までの間、開催されている。

視察時は、高知県や和歌山県がそれぞれの県を紹介していたが、静岡県も後日参加予定である。

開催概要は、主催が日本・インドネシア国交樹立 60 周年記念事業運営委員会で、コンセプトは、日本の伝統文化、観光資源、スポーツ交流の場をつくり、インドネシア人に日本に関する新たな「発見」と親しみを感じていただくというものである。

内容は、①日本の地方自治体によるブース出展・資料出展。②日本とインドネシアのバドミントン親善試合の開催。③日本文化を紹介するステージパフォーマンス披露などがある。

先日、ジャカルタにある日本大使館を訪れたときに、60周年記念ロゴについてお話があった。このデザインは、インドネシア東ジャワ州の男子高校生クリスナ・セトヤ・ウイラタマさん(17歳)が発案したもので、「6」がインドネシア国旗、「0」が日の丸、両国を象徴するワヤン「影絵芝居」と桜が描かれている。




60周年のキーメッセージは、「共通の未来に向けて:『共に働き、共に前進する!』」で、目標としては、①過去の成果認知に終わらず、次世代のための協力の方向性を議論。②一層の「心と心の交流」:双方向の観光交流100万人達成を目指す。としている。

今回の視察全般を通じて、キーメッセージやロゴマーク、昨日訪問したパジャジャラン大学での学生達とのミーティングなどは、まさにこの流れを背景にしていることを実感した。

本県と交流はこれからであるが、この時期に現地視察し、それぞれの関係者と意見交換できたことは、今後の進め方について大きな意義があると考えている。

私にとって、30年前に仕事で訪れ、長期滞在の経験があるインドネシアであったが、改めて、この国の素晴らしさと、今後の交流、発展に期待したいと思う。

整理番号	9-16
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報取組費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	参考書籍購入		
年月日	平成 30年 9月 28日～平成 年 月 日	金額	3,536円

目的	県下スポーツ事業活性化調査
使途	「D・sports SHIZUOKA」18号 5冊 (H30 9月発行 18号分)
政務活動・ 県政との 関連性	情報を収集し県下スポーツ事業への活性化・政策への反映

《領収書貼付枠》  
H30年度 充当分 9月発行18号分のみ  
@700円×5冊=3,500円  
3,500円+36円(振込手数料) =3,536円

H31年度 充当分 6月・9月発行19・20号分  
@700円×5冊×2ヶ月分=7,000円  
7,000円+72円(振込手数料) =7,072円

※振込手数料 108円

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	3,536円	100%	3,536円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

処理日時 2018年09月27日 13時58分44秒

■取引情報

取引ID	180927000603374
受付番号	0927006
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 09月28日
取引名	09月27日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	本店営業部 (111) 当座 0001719
受取人名	カシオオガイテレビ
登録名	株式会社 静岡第一テレビ

■振込金額

入金金額	10,500円
税込手数料	108円
引落合計金額	10,608円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2018年09月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2018年09月28日
承認日時	2018年09月27日 13時58分
コメント	雑誌「D-sports SHIZUOKA」18~20号各5冊年3回分

振込依頼を受付けました。  
振込依頼は 9月28日扱いです。

領 収 証

自民改革会議

様

No. \_\_\_\_\_

★ ￥ 10,500-

但 DZV118号A20号各5冊 @ 700 × 3冊合計  
平成30年 9 月 28 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額
消費税額等( %)

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

422-8560

静岡市駿河区中原563番地  
静岡第一テレビ 事業部

